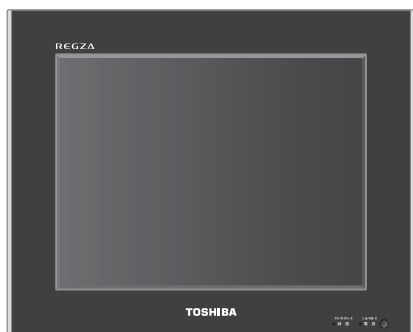
TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA

地上・BS・110度CS
デジタル液晶テレビ
取扱説明書

12GL1

操作編

：：最初に別冊の「準備編」をお読みください。
：：本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときは」をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

もくじ

はじめに 6

テレビを見る 13

録画・予約をする 28

再生する 40

操作編

その他 66

テレビの楽しみかた

■部屋の明るさは新聞が読める程度で

- 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
  ときどき目を休めましょう。

■音量は適切に

- 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

この取扱説明書内のマークの見かた

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

用語の説明をしています。（分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります）

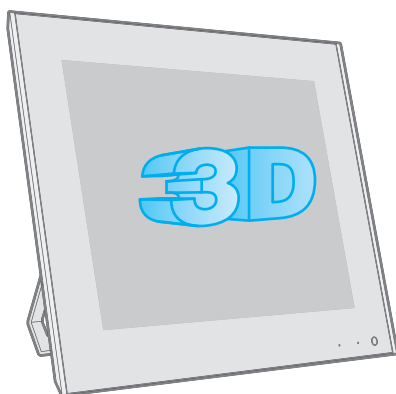
関連する内容が記載されているページの番号を示しています。

取扱上のお願いを記載しています。

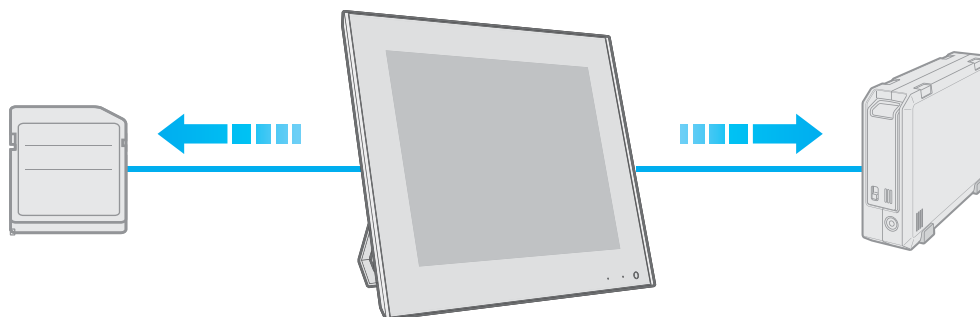
取扱上のご注意を記載しています。

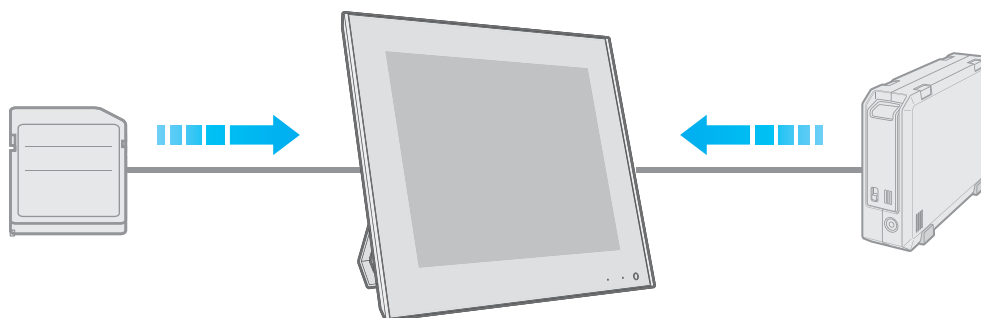
本機の特長 ～こんなことができます～

3D映像を楽しむ ➡ 24ページ

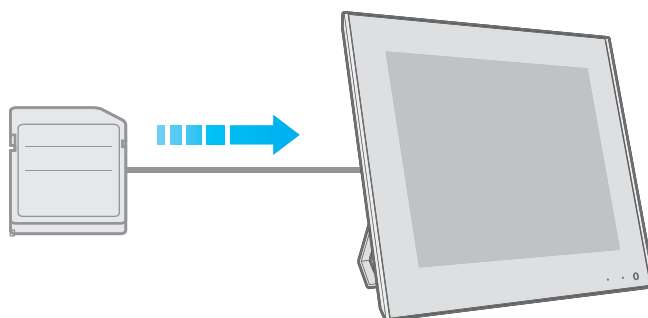
- 本機は当社独自技術による「グラスレス3D映像」表示方式を採用しています。
- 通常の映像（2D映像）や3Dグラス方式用の3D映像を、3Dグラスなしで立体映像として視聴することができます。（3Dグラス方式の3Dテレビとは見えかたが異なる場合があります）

録画する

市販のUSBハードディスクを接続して、デジタル放送の録画ができます。
また、SDメモリーカードにはワンセグ放送が録画できます。

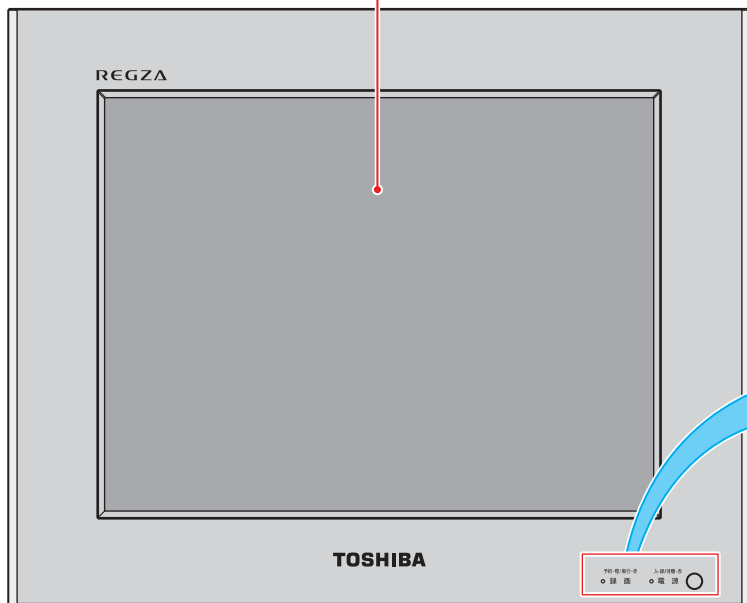
- 見ている番組を録画する ⇨ 30ページ
- 番組表で録画·予約する ⇨ 31ページ
- 連続ドラマを予約する ⇨ 32ページ
- 番組を検索して予約する ⇨ 33ページ
- 携帯電話やパソコンから録画予約をする ⇨ 35ページ

見る

✽ 録画した番組を再生する ⇨ *40*ページ

写真や動画を楽しむ ➡ *48*ページ

デジタルカメラやデジタルビデオカメラでSD メモリーカードに記録した写真や動画を再生できます。

✽ 写真を再生する。
✽ 動画を再生する。

各部のなまえ

● 詳しくは[☞]内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

前面

右側面

SDメモリーカード挿入口（準備編 46☞）
- SDメモリーカードを差し込みます。

※ 本書では SD メモリーカード、SDHC メモリーカードおよび SDXC メモリーカードを総称して「SD メモリーカード」と表記しています。

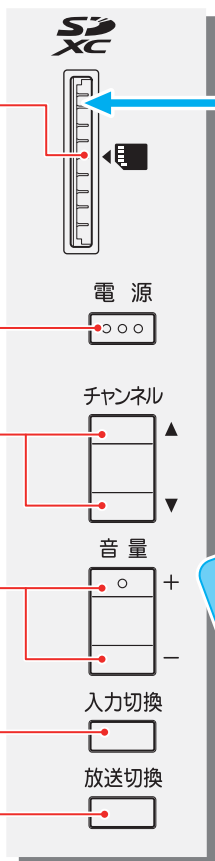
電源 10☞
- 電源を「入」、「切」にします。

チャンネル ▲･▼（アップ･ダウン）
- チャンネルを順に切り換えます。

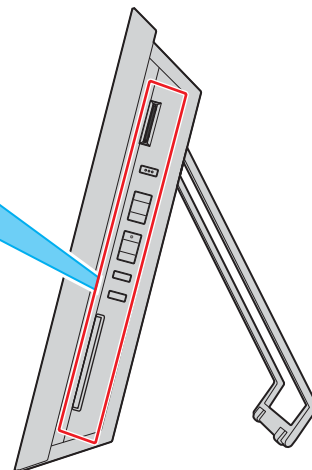
音量 ＋･－
- 音量を調節します。

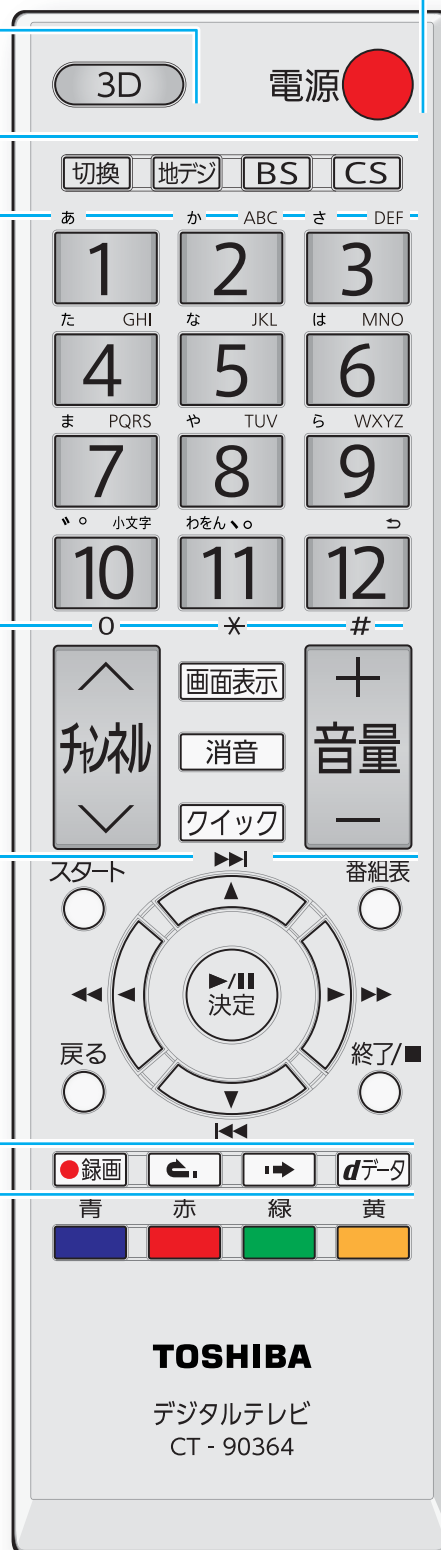
入力切換 23☞
- 入力を順に切り換えます。

放送切換 13☞
- 放送の種類を切り換えます。

SDXC
電 源
チャンネル
▲
▼
音 量
＋
－
入力切換
放送切換

SDメモリーカード

ここを下にする

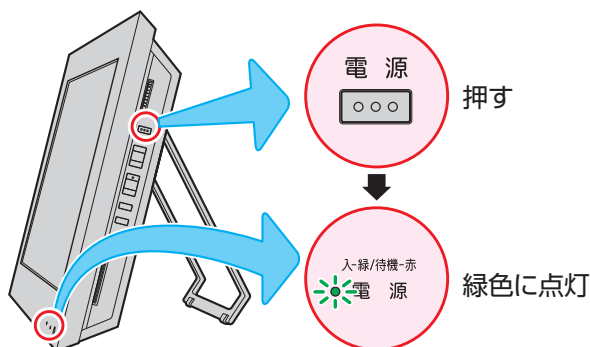
- カードの向きを確かめて、カチッと音がするまでゆっくり奥まで押し込みます。
- SD メモリーカード挿入口にほかの種類のメモリーカードを挿入しないでください。
- 取り出すときは、いったん押し込みます。

リモコンボタン操作ガイド

- 電源を入れる/待機にする…………………… 10
- 2D/3D映像表示を切り換える………………… 24
- DVDなどを見る/ゲームを楽しむ……………… 23
- 放送の種類を切り換える……………………… 13
- チャンネルを選ぶ……………………………… 13
- 文字を入力する ……………………………… 22
- チャンネルを順番に選ぶ ……………………… 13
- 番組名や放送局名、放送時間などを見る…… 14
- 音を消す………………………………………… 13
- クイックメニューを使う………………………… 11
- 音量を調節する ……………………………… 13
- スタートメニューを表示させる ……………… 11
- 番組表を表示させる…………………………… 16、31
- メニューから選ぶ、決定する ………………… 12
- メニュー操作で一つ前の画面に戻る ……… 12
- 操作を終了する ……………………………… 41
- 再生をする……………………………………… 41
- 早送り、早戻しをする ………………………… 41
- 録画番組をスキップをする…………………… 41
- 再生を停止させる……………………………… 41
- 再生を一時停止させる………………………… 41
- 録画をする……………………………………… 30
- ワンタッチリプレイ（少し戻す） ……………… 41
- ワンタッチスキップ（少し進む） ……………… 41
- データ放送を見る……………………………… 15
- カラーボタン…………………………………多様な用途があります

基本操作

電源を入れる

「電源」表示が消えているとき(「切」のとき)

「電源」表示が消えているとき、リモコン操作はできません。

❶本体右側面にある電源ボタンを押す
- 電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。

「電源」表示が赤色に点灯しているとき(「待機」のとき)

❶リモコンの電源●を押す
- 電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。

電源を待機にする／切る

電源を待機にする

❶電源が「入」ときに、リモコンの電源●を押す
- 電源が「待機」(リモコン操作待受状態)になり、「電源」表示が赤色に点灯します。
- リモコンで電源を入れることができます。(ほかのリモコン操作はできません)

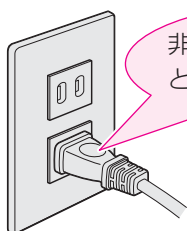
電源を切る

❶「電源」表示が赤色または緑色に点灯しているときに、本体右側面にある電源ボタンを押す
- 電源が「切」になり、「電源」表示が消灯します。

※ リモコンでの操作ができなくなります。

お願い…電源プラグの取扱いについて

普段はコンセントに差し込んでおく

- 番組情報を取得するために、電源プラグは非常時や機器の接続、お手入れなどをするとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。(旅行などで長期間使用しないときはコンセントから抜いてください)

メニュー操作手順の表記について

- クイックメニューや設定メニューの操作手順については、以下の例のように一部を簡略化して記載しています。
- 操作が終わったときにメニューを消す手順を省略しています。

例

1. クイックを押す
2. ▲·▼で「映像／音声設定」を選び、決定を押す
3. ▲·▼で「映像メニュー」を選び、決定を押す
4. お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定を押す
5. 終わったら、終了を押す

1. クイックを押し、▲·▼と決定で「映像／音声設定」⇨「映像メニュー」の順に進む
2. お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定を押す

- 終了の手順を省略しています。操作が終わったときに表示されているメニュー画面や確認画面を消すときには、終了を押してください。

クイックメニューについて

- [クイック]を押してクイックメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- クイックメニューの内容は、[クイック]を押すときの場面によって変わります。
- クイックメニューで選択できる項目は、放送の種類などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組などを視聴中

クイックメニュー

クイックメニュー	機　能（一部省略しています）	詳細記載ページ
番組説明	視聴中や再生中番組の放送内容を確認できます。	14、16
映像／音声設定	お好みの映像メニューを選んだり、お好みの映像、音声に調整したりできます。	52、54
3D表示モード切換	3D映像の表示モードを切り換えることができます。※	25
3D視聴位置確認	3D映像の視聴位置が適切でないときにメッセージが出るように設定できます。	24
画面サイズ	視聴する映像に合わせて、画面サイズを設定します。	54
連ドラ予約	視聴中の連続ドラマが次回から毎回録画されるように予約することができます。	32
オフタイマー：切	タイマー機能を使って電源を切ったり入れたりすることができます。	27
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに、内容を確認します。	67
ハードディスク残量表示	USBハードディスクにあとどれくらい録画できるか確認することができます。	46
SDメモリーカード残量表示	SDメモリーカードにあとどれくらい録画できるか確認することができます。	46
その他の操作		

※2D表示中は、「2D表示モード切換」になります。

その他の操作

その他の操作	機　能	詳細記載ページ
信号切換		
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局することができます。	13
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。	準備編 35
データ放送終了	データ放送の視聴を終了します。	15
テレビ/ラジオ/データ切換	視聴する放送メディアを切り換えます。	18

信号切換

信号切換	機　能	詳細記載ページ
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。	26
音声信号切換	一つの番組で複数の音声が送られている場合に切り換えられます。	26
音多切換	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。	26
データ信号切換	一つの番組で複数のデータが送られている場合に切り換えられます。	26
字幕切換	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	26
降雨対応放送切換	豪雨などのときに降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。	26

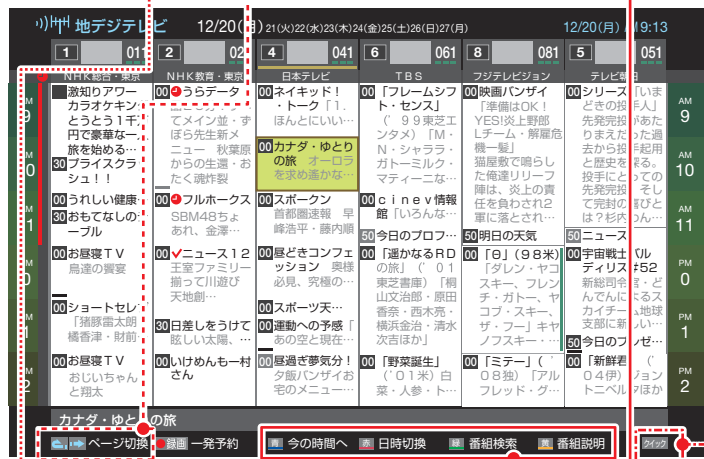
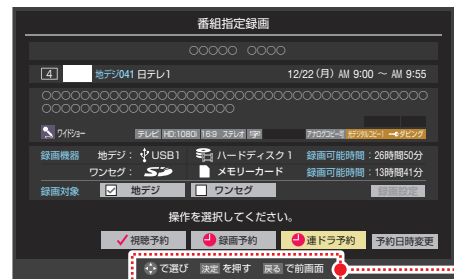
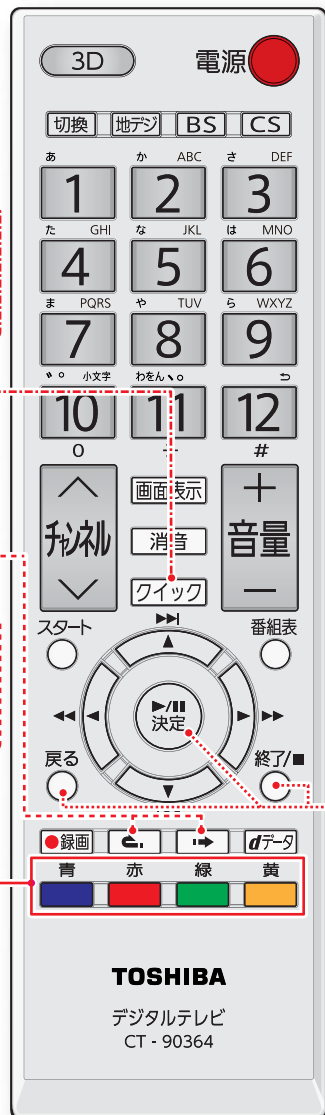
スタートメニューについて

- 番組表の表示などの基本操作や本機の設定などができます。

スタートメニュー	機　能	詳細記載ページ
映像を見る	USBハードディスクやSDメモリーカードに録画した番組を再生する	40
写真を見る	SDメモリーカードに保存されている写真を再生する	50
番組表	番組表を表示させる	16
予約を確認する	予約内容の確認と取消をする	38
設定	設定を変更する	69 準備編 31～

基本操作 つづき

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタンやクイックに割り当てられています。
- 設定メニュー画面では、操作ガイドがメニュー画面の外に表示されます。

テレビ番組を楽しむ

リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ、BS、CSで放送の種類を選ぶ

- 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。
- 本体右側面の放送切換でも放送の種類が切り換えられます。放送切換を押すたびに、放送の種類が順に切り換わります。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

- 以下の3とおりの選局方法があります

ワンタッチ選局ボタンで選局する（ワンタッチ選局）

- ワンタッチ選局ボタン1～12で選局します。（下の「お知らせ」をご覧ください）

チャンネル∧・∨ボタンで選局する（順次選局）

- チャンネル∧∨または本体右側面のチャンネル▲▼を操作します。

チャンネル番号を入力して選局する（ダイレクト選局）

- デジタル放送のチャンネル番号は番組表で確認できます。

❶ クイックを押し、▲・▼と決定で「その他の操作」⇨「チャンネル番号入力」と進む

- 画面の右上に、地デジ---、BS---、CS---のどれかが表示されます。

❷ 1～10(0)でチャンネル番号を選ぶ

例 103チャンネルを選ぶ場合⇨1 10(0) 3の順に押す。（「0」は10で入力）

- 入力した番号を消すには、◀を押します。

■ 枝番のついた放送一覧が表示されたとき

- ▲・▼で選んで決定を押すか、10(0)～9で枝番を指定して選びます。

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

❶ 音量＋－または本体右側面の音量＋－を操作する

音を一時的に消す

❶ 消音を押す

- 画面右下に 消 音 が表示されます。もう一度消音を押せば音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

❶ クイックを押し、▲・▼と決定で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「字幕切換」と進む

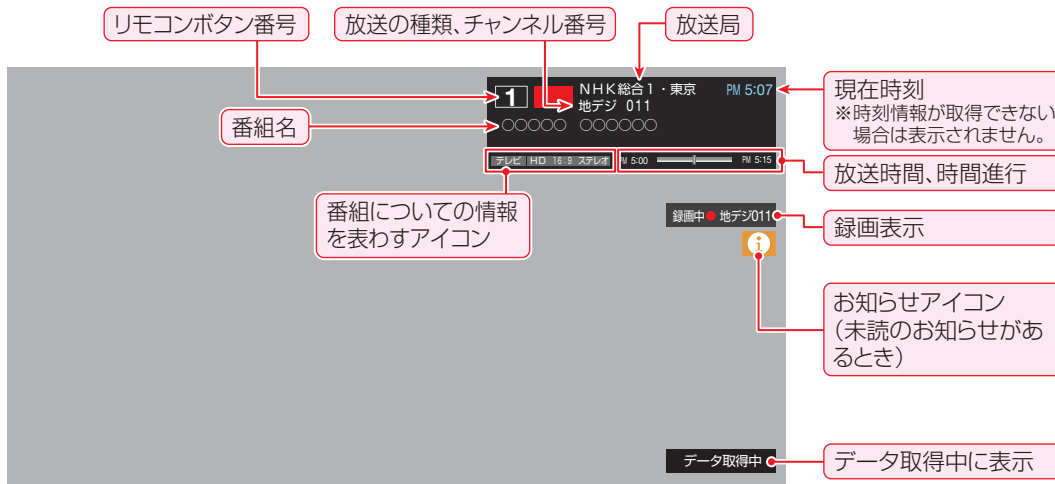
❷ ▲・▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、決定を押す

- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表16で確認することができます。
- 1～12でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです。地デジ難視対策衛星放送のワンタッチ選局ができるようにするなど、設定をお好みに変更する場合は、「チャンネルをお好みに手動で設定する」（準備編39）の操作をしてください。
  - 地デジを押したとき→「はじめての設定」（準備編31）で各ボタンに登録されたチャンネル
  - BSを押したとき→BSデジタル放送の各チャンネル
  - CSを押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル（1と2のみ）
  - 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルが順番に選べます。
- 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います。（番号順にならない場合があります）
- お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した（準備編65）直後は、チャンネル番号入力での選局ができないことがあります。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
- 本機はペイ・パー・ビュー放送（PPV放送：番組単位で料金を支払う放送）には対応していません。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

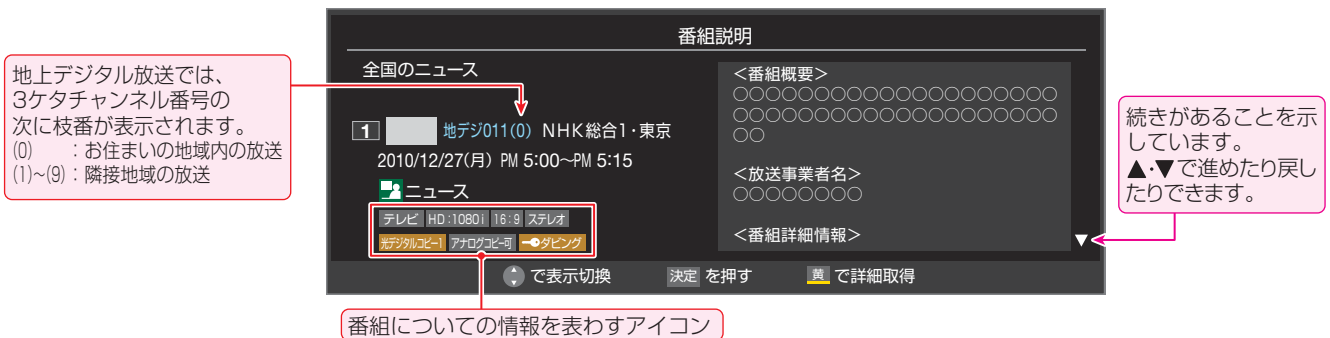
1 [画面表示]を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。（チャンネル以外の表示は数秒後に消えます）
- すべての表示を消すには、もう一度[画面表示]を押してください。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。

番組説明を見る

1 [クイック]を押し、▲·▼で「番組説明」を選んで[決定]を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、[黄]を押します。
  - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
  - 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

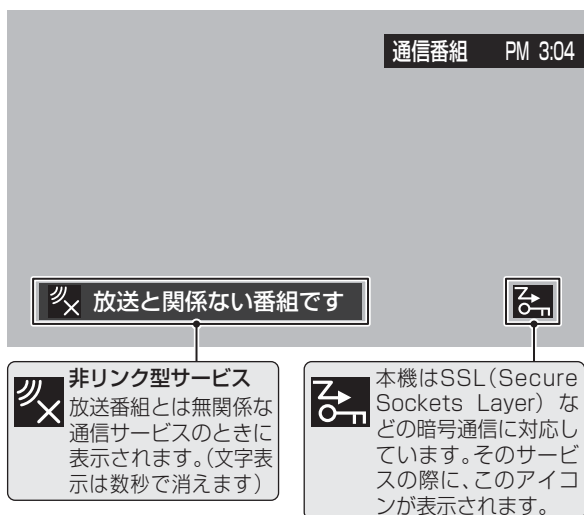
3 説明画面を消すには、[決定]を押す

- 画面に表示されるアイコン（ステレオ、HD:1080i などの記号）についての説明は、「アイコン一覧」68 をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。

データ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

ラジオ放送について

- 2010年12月現在、ラジオ放送は運用されておりません。
- ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことができます。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 dデータを押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

2 データ放送を終了するには、以下の操作をする

❶ クイックを押す

❷ ▲･▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で「データ放送終了」を選び、決定を押す

独立データ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで行われている独立データ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送を視聴する場合は、BSを押します。

2 クイックを押し、▲･▼と決定で「その他の操作」⇨「テレビ/ラジオ/データ切換」の順に進む

- ラジオ放送が運用された場合は、「ラジオ」を選択することもできます。
- チャンネルで他のチャンネルに切り換えられます。
  チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本体の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、dデータは「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。

■ 双方向サービスについて
- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定(準備編 55～57)をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
- 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

見たい番組を探す

見たい番組を番組表で探す

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。

1 番組表 を押す

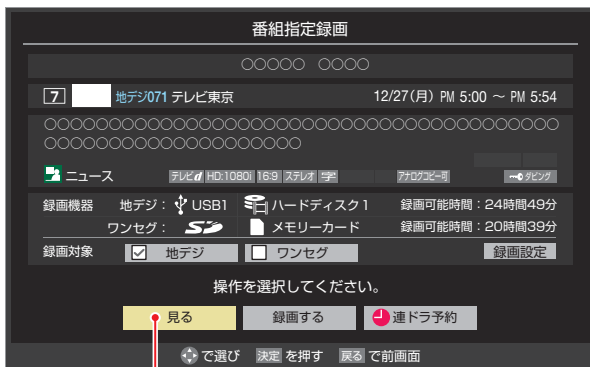
- 番組表が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CSのどれかを押します。
- データ放送の番組表に切り換えるときは、クイックを押し、「テレビ/ラジオ/データ切換」から「データ」を選びます。

2 現在放送中の番組を▲・▼・◀・▶で選ぶ

- 番組説明を見るには、クイックを押し、「番組説明」を選びます。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには ・ を押します。

3 決定 を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。37 の手順3をご覧ください。

4 ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定 を押す選ぶ

- 選んだ番組の放送画面になります。

[番組表画面表示例]

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」16 の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」（準備編 40）で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

文字サイズを大きくする

● 番組表の文字が小さくて見えにくいときは、番組表が表示されているときに以下の操作をします。

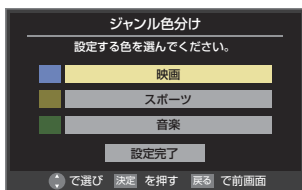
1 クイックを押し、▲･▼で「文字サイズ変更」を選んで決定を押す

2 希望の文字サイズを▲･▼で選び、決定を押す

ジャンル別に色分けする

● 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
● お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。
● 番組表が表示されているときに以下の操作をします。(各放送メディアに共通の設定になります)

1 クイックを押し、▲･▼で「ジャンル色分け」を選んで決定を押す

2 設定する色を▲･▼で選び、決定を押す

3 ▲･▼･◀･▶でジャンルを選び、決定を押す

● 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

4 ▲･▼で「設定完了」を選び、決定を押す

その他の便利な機能を使う

● カラーボタンや番組表のクイックメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
● 番組表が表示されているときに以下の操作をします。

今の時間帯の番組表を表示させる

● 数日後の番組表を見ているようなときに、簡単に今の時間帯の番組表に戻ることができます。

1 青(今の時間へ)を押す

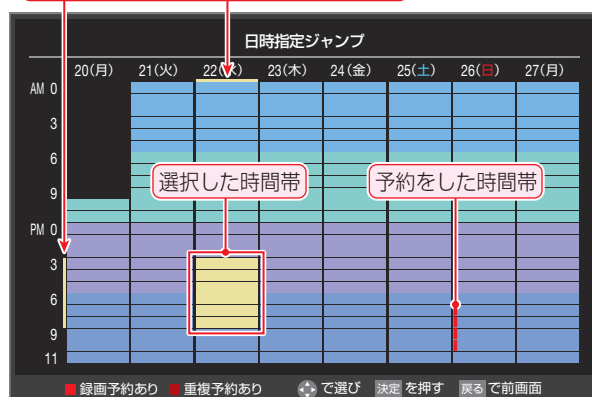
● 今の時間帯の番組表になります。

指定した日時の番組表を表示させる

● 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 赤(日時切換)を押す

2 ▲･▼･◀･▶で日時を選び、決定を押す

選択した時間帯の日付位置と時間位置が黄色で表示されます。

● 選んだ時間帯の番組表が表示されます。

■ 放送メディア
デジタル放送の媒体(テレビ放送、データ放送、ラジオ放送)をさします。

見たい番組を探す つづき

番組表の放送メディアを切り換える

● 番組表に表示させる放送メディア（ラジオ、テレビ、独立データ）を選びます。

1 クイックを押し、▲･▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで決定を押す

● 「ラジオ」は、ラジオ放送が運用されている場合に選択できます。

2 ▲･▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」を選び、決定を押す

● 「ラジオ」は、ラジオ放送が運用されている場合に選択できます。

番組表を更新する

● 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 クイックを押し、▲･▼で「番組情報の取得」を選んで決定を押す

番組情報の取得中に表示されます。

※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ない場合があります。
※ 録画中は番組情報の取得ができません。
◇ 地上デジタル放送の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。
◇ BSデジタル放送の場合は番組表全体が更新されます。将来、放送の運用が変更された場合は、選択中の番組を含むTS（トランスポートストリーム）の番組だけが更新されます。
◇ 110度CSデジタル放送の場合は、選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中にクイックを押し、▲･▼で「番組情報の取得中止」を選んで、決定を押します。

■ TS（Transport Stream: トランスポートストリーム）
多重信号形式の一つで、デジタル放送の多重化信号として採用されています。

■（放送の）ネットワーク
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

● BSデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビ放送のみ）では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、クイックを押す

2 ▲･▼で「1チャンネル表示」（または「マルチ表示」）を選び、決定を押す

● クイックメニューには現在の番組表の表示とは逆のモード（「マルチ表示」、「1チャンネル表示」のどちらか）が表示されています。
● 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

［1チャンネル表示］

放送事業者ごとの
1チャンネル表示

放送事業者ごとの
マルチチャンネル表示

［マルチ表示］

番組記号の説明を見る

● 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 クイックを押し、▲･▼で「番組記号一覧」を選んで決定を押す

● 番組記号の説明が表示されます。
● 表示されるのは番組記号の一部です。
● 見終わったら、決定を押します。

番組概要の表示/非表示を設定する

● 選択中の番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「番組表表示設定」⇨「番組概要表示設定」の順に進む

2 ▲･▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定を押す

番組表の明るさを設定する

● 番組表の明るさを調節することができます。

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「番組表表示設定」⇨「番組表明るさ設定」の順に進む

2 ▲･▼で「明るい」、「標準」のどちらかを選び、決定を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

● 地上デジタル放送の番組表内の放送局の表示位置を設定します。

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「番組表表示設定」⇨「地デジ表示設定」の順に進む

2 ▲･▼で以下のどちらかを選び、決定を押す

- **視聴チャンネル中央表示**…視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- **チャンネル順優先表示**…お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

条件を絞りこんで番組を探す

- 番組のジャンル（分野）やキーワードなどの条件を指定して見たい番組を探すことができます。

1 番組表が表示されているときに、［緑］（番組検索）を押す

- 番組検索画面が表示されます。

2 検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

- 以降の手順で指定する検索条件のうち、「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」は検索グループごとに記憶されます。

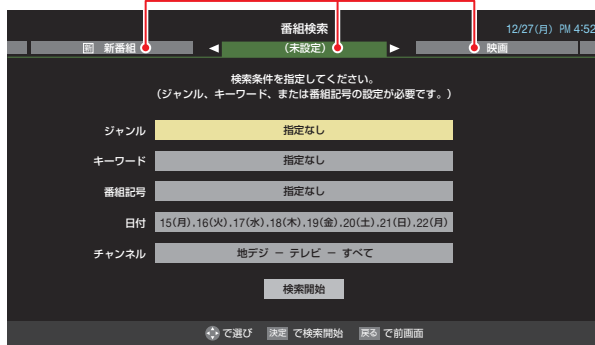
検索グループごとのタブ

番組検索（未設定） 12/27(月) PM 4:52
新番組 ◀ ▶ 映画

検索条件を指定してください。
（ジャンル、キーワード、または番組記号の設定が必要です。）

ジャンル	指定なし
キーワード	指定なし
番組記号	指定なし
日付	15(月),16(火),17(水),18(木),19(金),20(土),21(日),22(月)
チャンネル	地デジ － テレビ － すべて

検索開始

で選び　決定 で検索開始　戻る で前画面

3 検索条件を指定する

- 「ジャンル」と「キーワード」のどちらかを、必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するとき

❶ ▲·▼で「ジャンル」を選び、［決定］を押す

❷ 指定するジャンルを▲·▼·◀·▶で一つ選び、［決定］を押す

- サブジャンルから指定することもできます。

ジャンル指定

ジャンルを選択してください。

映画	洋画	邦画	スポーツ	ｽﾎﾟｰﾂﾆｭｰｽ
野球	サッカー	ゴルフ	格闘技	公営競技
音楽	邦楽ﾛｯｸ	洋楽ﾛｯｸ	ｸﾗｼｯｸ	ｺﾝｻｰﾄ
ニュース	天気	交通	ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ	報道特番
ドラマ	ﾊﾞﾗｴﾃｨｰ	ﾜｲﾄﾞｼｮｰ	ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞ	グルメ
アニメ	劇場	教養	趣味	福祉

指定しない

で選び　決定 を押す　戻る で前画面

指定しないときはここを選びます。

「キーワード」を指定するとき

❶ ▲·▼で「キーワード」を選び、［決定］を押す

❷ 指定するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、［決定］を押す

- お買い上げ時は登録されていません。

■新しいキーワードを登録する場合

① ▲·▼·◀·▶で「新規登録」を選び、［決定］を押す

- 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して、［決定］を押す

- 文字入力のしかたは、「文字を入力する」 23 をご覧ください。
- キーワードは14個まで登録できます。

■キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、［青］を押す

② キーワードを編集し、［決定］を押す

■キーワードを削除する場合

① 削除するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、［赤］を押す

② ◀·▶で「はい」を選び、［決定］を押す

「番組記号」を指定するとき

❶ ▲·▼で「番組記号」を選び、［決定］を押す

❷ 指定する番組記号を▲·▼·◀·▶で選び、［決定］を押す

指定しないときはここを選びます。

用語

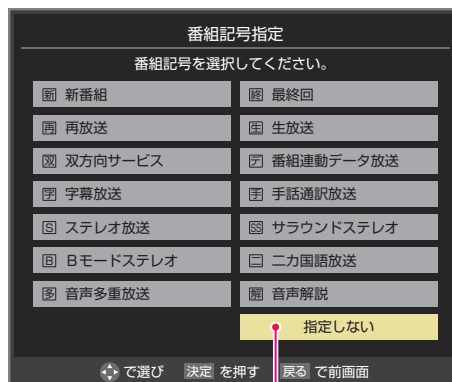
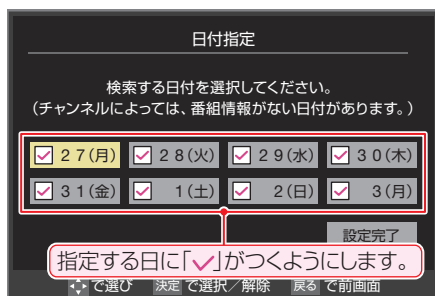
■ジャンル
スポーツ、映画、音楽などのような、番組の分野のことです。

■キーワード
情報検索で、情報を引き出すための手がかりとなる語のことです。

- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- 「チャンネルスキップ設定」（準備編 40）で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

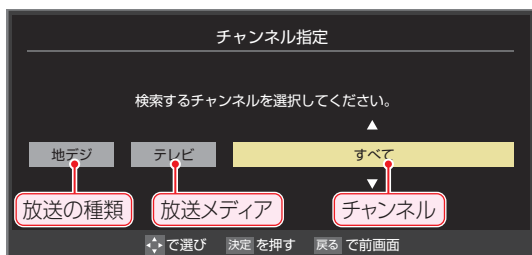
「日付」を指定するとき

❶ ▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

❷ 指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑(指定する)と□(指定しない)が交互に切り換わります。
- 7日先まで指定できます。

❸ 指定が終わったら、▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

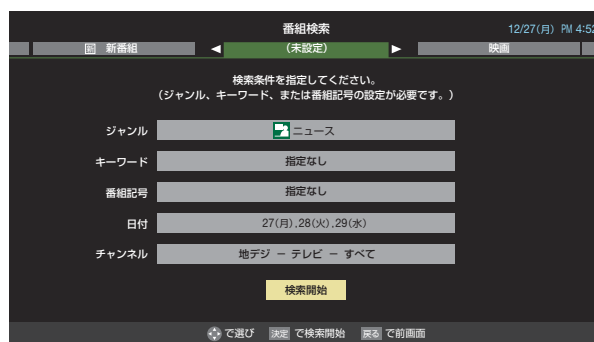
「チャンネル」を指定するとき

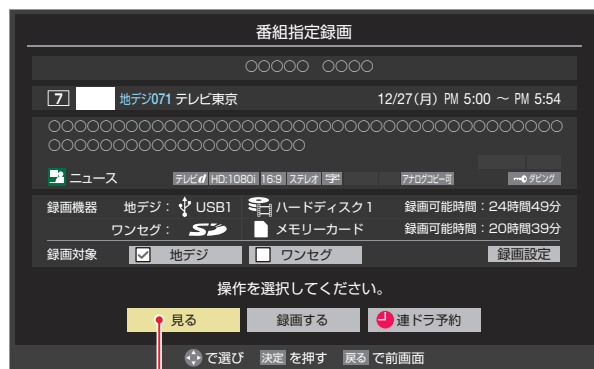
❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷ 指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**………すべて／ BS ／ CS ／地デジ
- **放送メディア**……すべて／テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ)／データ
- **チャンネル**………指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、決定を押す

4 ▲·▼で「検索開始」を選び、決定を押す

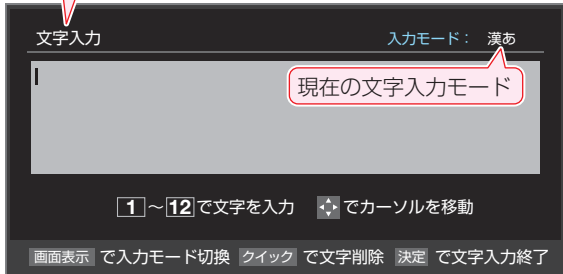
- 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

5 「番組検索結果」画面から見たい番組を▲·▼で選び、決定を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。31 の手順3をご覧ください。

6 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定を押す

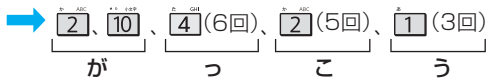
- 選んだ番組の放送画面になります。

条件を絞りこんで番組を探す つづき

文字を入力する

- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。

1 [1]～[12]で文字を入力する

- 携帯電話と同じ操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

- 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するには、文字に続けて[10]を押します。
- 小文字(っ、ゃ、ゅなど)にするには、大文字に続けて[10]を押す方法もあります。確定前であれば[10]を押すたびに大文字⇔小文字に切り換えられます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、▶を押してから次の文字を入力します。

入力例：あい ➡ [1]、▶、[1](2回)
（あ / い）

- 文字入力モードを変えるときは、[画面表示]を押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を▲·▼·◀·▶で選んで入力します。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、[クイック]を短く押します。
  カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、[クイック]を押し続けます。
  カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字がすべて削除されます。カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

- **漢字に変換しないときは、(決定)を押す**
- **漢字に変換するときは、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら(決定)を押す**
  - 希望する漢字に変換されない場合は、◀·▶で変換する範囲を変え、▲·▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、(決定)を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

文字入力モード

「漢あ」	漢字変換モード	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナモード	カタカナを入力できます。
「ａＡ」	全角英字モード	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字モード	半角の英字を入力できます。
「１２」	全角数字モード	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字モード	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号モード	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号モード	半角の記号を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる文字入力モードの種類が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	文字入力モード			
	漢字変換モード	全角カナモード	英字モード	数字
1	あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→カ→ケ	a→b→c→A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f→D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と→っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i→G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l→J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o→M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s→P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	t→u→v→T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9
10	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→ゎ→、→。→ー→␣(スペース)	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。→ー→␣(スペース)	※1	*
12	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

- 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

※1 全角英字の場合……。→／→：→ー→＿→～→＠→␣(スペース)
半角英字の場合…….→/→:→-→_→~→@→␣(スペース)

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

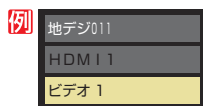
- 入力した文字は、次のように表示されます。
  - 入力中の文字：黄色背景
  - 未確定の文字：白色背景
  - 漢字変換候補選択中の文字：灰色背景
  - 確定した文字：背景なし
- 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時に(戻る)を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

DVD・ゲームなどの画面に切り換える

- 本機の外部入力端子（HDMI入力、ビデオ入力）に接続したビデオや、DVDプレーヤー／レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、準備編の「外部機器を接続する」51 の章をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 切換 を押す

- 切換 の操作は、本体右側面の 入力切換 でもできます。
- 切換 を押すと次の入力が選択された状態で画面左上に入力一覧画面が表示され、少し待つとその入力に切り換わります。希望の入力を選ぶには、入力が切り換わる前に次の手順3の操作をします。

例
3 切換 を繰り返し押すか、または▲･▼を押して入力を選ぶ

- 切換 を押すたびに以下のように切り換わります。
  - ▲･▼では順方向・逆方向の選択ができます。

放送→HDMI1→ビデオ1

- 少し待つと選択した入力に切り換わります。

4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- 3D表示および3D映像の2D表示のときは、映像・音声の遅延量が大きくなります。ゲームの種類によっては楽しめない場合があります。

お知らせ
- 入力切換時に画面に表示される「DVD」などの機器名を変えることができます。「外部入力表示設定」（準備編 61 ）をご覧ください。

3D映像を楽しむ ～グラスレス3D映像～

安全上のご注意について

● 別冊「準備編」の 14 に、3D映像視聴時の「安全上のご注意」を記載していますので、必ずお読みください。

3D映像の表示機能について

● 本機は当社独自技術による「グラスレス3D映像」表示方式を採用しています。通常の映像（2D映像）や専用メガネ方式用の3D映像を、専用メガネなしで立体映像として視聴することができます。
● 本機に3D対応のBDプレーヤーなどを接続しても、3Dコンテンツをそのまま表示することはできません。HDMI端子から入力された2Dコンテンツは2D ／ 3D変換により3D表示することができます。
※ 専用メガネ方式の3Dテレビとは見えかたが異なる場合があります。また、3D映像の見えかたには個人やコンテンツによっても差があります。
※ 本機の3D映像を、専用メガネを使用して視聴することはできません。
※ 本機の3D映像表示機能は、本機の使用者が個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむためのものです。したがって、個人が私的に撮影した映像以外のコンテンツを3D映像として視聴する場合は、著作者その他の権利者に十分に配慮し、ご家庭内での個人的な使用の範囲を超えて、不特定または多数の人に視聴させることがないようにご注意ください。

3D映像の視聴位置について

● 画面の正面で視聴してください。
3D映像の視聴位置が適切でない場合に、ご注意のメッセージが表示されるように設定することができます。

❶ クイックを押し、▲・▼で「３Ｄ視聴位置確認」を選び、決定を押す

❷ ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す
- **オン** … ご注意のメッセージが表示されます。
- **オフ** … ご注意のメッセージは表示されません。

● お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
※視聴位置が適切な場合でも、暗い映像シーンなどのときにメッセージが薄く見えることがあります
● なるべく顔を傾けないで視聴してください。
● 画面からおよそ65cmの位置で視聴してください。

リモコンで2D/3D表示を切り換える

● 視聴中にリモコンの 3D を押します。
● 3D を押すたびに3D表示と2D表示に交互に切り換わり、画面に「3D表示に切り換えました。」などのメッセージが約4秒間表示されます。

3D表示に切り換えたとき

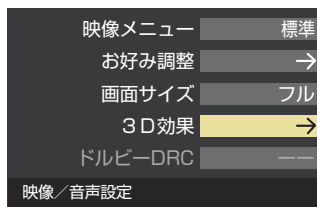
❶「3D視聴時のご注意」の画面内容を読み、◀・▶で「はい」または「いいえ」を選んで決定を押す

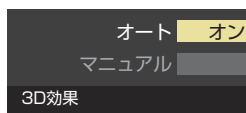
● 「3D視聴時のご注意」の画面は、スタートを押し、▲・▼と決定で「機能設定」⇨「3D設定」⇨「3D視聴時のご注意」の順に進んで表示させることもできます。

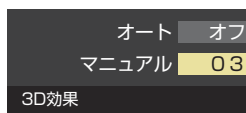
お知らせ
● ビデオ入力からの映像は、3D表示に切り換えることはできません。

3D効果を切り換える

● 3D映像の見えかたを自動、または手動で5段階に切り換えることができます。必要に応じて以下の操作をしてください。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「映像／音声設定」⇨「3D効果」の順に進む

2 ▲·▼で「オート」を選び、決定を押す

● 「オート」の設定を選びます。

- **オン**　3D効果が自動的に設定されます
- **オフ**　3D効果を手動で設定します

3 手順**2**で「オフ」を選んだときは、▲·▼で「マニュアル」を選び、決定を押す

4 ◀·▶でお好みの設定を選び、決定を押す

3D映像の視聴を制限する

● お子様の視覚機能への影響が懸念される場合などに、3D映像の視聴を暗証番号で制限したり、視聴時間を制限したりすることができます。

1 「3D暗証番号設定」(準備編 58)の手順で「3D暗証番号」を設定する

2 暗証番号で制限する場合は、「3D視聴制限」(準備編 59)の手順で「制限する」に設定する

● 3D表示の際に暗証番号の入力画面が表示されるようになります。お子様に3D映像を視聴させてもよい場合は、保護者の方が暗証番号を入力してあげてください。

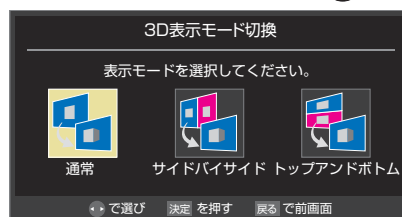
3 長時間視聴時にメッセージを表示させる場合は、「3D視聴制限タイマー」(「準備編」59)の手順で時間を設定する

● お買い上げ時は、3D映像の視聴開始から60分後にメッセージが表示されるように設定されています。

3D表示モードを切り換える

● 視聴している映像によっては、3D表示モードを以下の操作で切り換えることができます。
● 設定は、選局、入力切換、電源「待機/切/入」操作、番組の切り換わりなどの際に「通常」に戻ります。

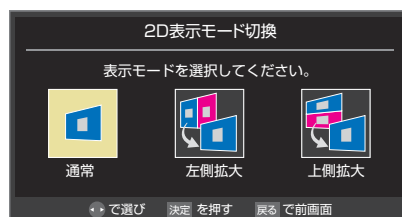
1 クイックを押し、▲·▼で「3D表示モード切換」を選んで決定を押す

2 ◀·▶で以下から選び、決定を押す

- **通常**……………2D映像(通常の映像)を3D映像に変換します。
- **サイドバイサイド**……右目用、左目用の映像が左右に配置されている場合に選択します。
- **トップアンドボトム**……右目用、左目用の映像が上下に配置されている場合に選択します。

2D表示モードを切り換える

● 視聴している映像によっては、2D表示モードを以下の操作で切り換えることができます。
● 設定は、選局、入力切換、電源「待機/切/入」操作、番組の切り換わりなどの際に「通常」に戻ります。

1 クイックを押し、▲·▼で「2D表示モード切換」を選んで決定を押す

2 ◀·▶で以下から選び、決定を押す

- **通常**…………3D非対応テレビと同等の画面が表示されます。
- **左側拡大**……左側の映像が拡大表示されます。
- **上側拡大**……上側の映像が拡大表示されます。

便利な機能を使う

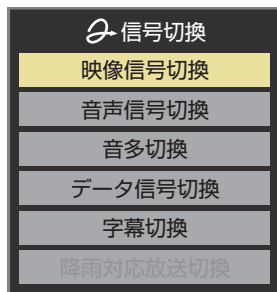
他の映像・音声に切り換える

映像、音声、データを切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
- 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 クイック を押し、▲･▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」の順に進む

2 切り換える信号を▲･▼で選び、決定 を押す

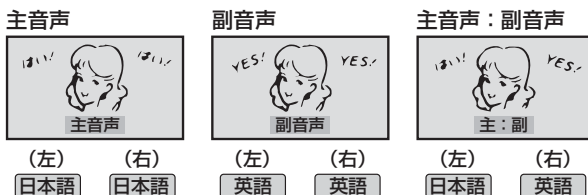
- 視聴中の番組で切換えのできない信号は、薄くなって表示されます。

3 視聴したい映像、音声、データを▲･▼で選び、決定 を押す

音声の切換について

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶとき

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組情報画面に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 クイック を押し、▲･▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「音多切換」の順に進む

（例 主音声が日本語、副音声が英語の場合）

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組情報画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 クイック を押し、▲･▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「音声信号切換」の順に進む

降雨対応放送について

- BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
- 以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
>
> コード：E201

1 クイック を押し、▲･▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲･▼で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選んでください。

■ 信号切換について
- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。（基本の信号を選択した状態になります）
- 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。

■ 降雨対応放送について
- 通常の放送よりも画質が低下します。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

自動で電源が切れるようにする

● オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲·▼で選び、決定 を押す

● 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
● オフタイマーが設定されているときにクイックを押すと、クイックメニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
● オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

■「オフタイマー」について
● 設定した時刻になる前に、電源を切ったり「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

録画機能について

録画できる機器と番組

番組＼機器	USB ハードディスク	SD メモリーカード
デジタルテレビ放送番組	録画できます	録画できません
ワンセグ放送番組	録画できません	録画できます
独立データ放送番組、ラジオ放送番組	録画できません	録画できません
外部入力からの映像・音声	録画できません	録画できません

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	接続・設定	録画前の準備
USBハードディスク(注1)	準備編 43 ～ 45	• USBハードディスクの電源を入れておきます。 • ハードディスクの残量を確認します。46 • 「総録画番組数」を見るナビで確認します。40 ※ 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除してください。43
SDメモリーカード(注2)	準備編 46 ～ 47	• 本機にSDカードを挿入しておきます。 • カードの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。

(注1) USBハードディスクは、本機に登録してからでないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、準備編の上記ページを参照し、登録してください。
- 本機で動作確認済のUSBハードディスクについては、準備編の 77 をご覧ください。

(注2) SDメモリーカードは、本機で初期化したカード以外は録画できません。

- 初めて録画するときは、あらかじめ本機で初期化をします。（準備編 46 ）

録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	30
番組表で録画・予約する	31
連続ドラマを予約する	32
番組を検索して録画・予約する	33
日時を指定して録画予約をする	34
携帯電話やパソコンから録画予約をする	35

※ 予約できる番組数は、録画予約と視聴予約を合わせて32番組までです。最大総番組数は500です。

- 録画中に停電したり、電源プラグやACアダプターを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。
- 予約録画実行時に自動削除機能によって削除される番組が多いときは、番組の冒頭部分が録画されない場合があります。
- 録画番組の再生中に録画予約の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。
- 予約録画実行中に停電が発生したり、電源プラグを抜いたりすると、録画は中止されます。（途中まで録画した番組は残りません）
- ワンセグ放送は、放送されていない場合や地上デジタル放送の番組と異なる場合があります。

■ **ワンセグ放送のSDメモリーカードへの録画について**

- 本機のSDメモリーカードへのワンセグ放送の録画は、SD-Video(ISDB-T MobileVideo Profile)規格に対応しています。ただし、同規格対応の他の機器（ワンセグ放送対応の携帯電話など）で録画した番組の本機での再生および、本機で録画した番組の他の機器での再生を保証するものではありません。
- 録画したワンセグ放送の番組は、パソコン等にコピーすることはできません。

USBハードディスクの自動削除機能について

- ハードディスクの容量が足りない場合に、日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能です。
- お買い上げ時には、USBハードディスクの「自動削除設定」43が「する」に設定されています。
- 録画番組が自動的に削除されないようにする場合は、「自動削除設定」を「しない」に設定するか、または録画番組を保護してください。録画前の設定で保護したり37、録画後に保護したり43することができます。

USBハードディスクに録画できる時間の目安

- USBハードディスクで録画できる時間の目安は以下のようになります。(地上デジタルハイビジョン放送の60分番組を設定している前提)

※「自動削除設定」が「する」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するために、録画時間が下表の時間よりも少なくなることがあります。

例 500GBのUSBハードディスクの場合

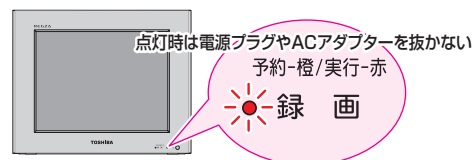
放送番組の種類	録画できる時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送(HD)番組だけを録画する場合	約50時間
BS/110度CSデジタルハイビジョン放送番組(HD)だけを録画する場合	約42時間
地上デジタルおよびBS/110度CSデジタルの標準テレビ放送番組(SD)だけを録画する場合	約125時間

- 放送番組の種類は、番組説明画面に表示されるアイコンで確認することができます。14
- USBハードディスクの残量(録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、見るナビのクイックメニューの「ハードディスク残量表示」46)は、BSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

本機前面の表示ランプについて

- 本機の動作状態に従って、表示ランプが点灯します。

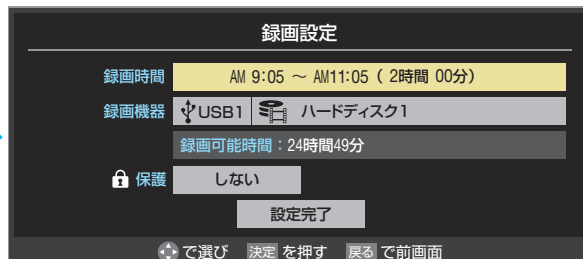
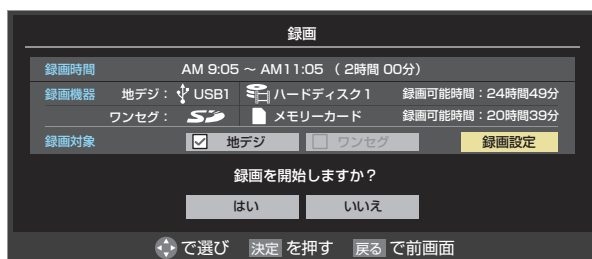
ご注意 **表示ランプが点灯しているときは、電源プラグを抜かないでください。**

本機の動作状態	「録画」表示
USBハードディスクやSDメモリーカードに録画予約が設定されているとき	オレンジ色に点灯
USBハードディスクやSDメモリーカードで録画中	赤色に点灯

見ている番組を録画する

● 今見ているデジタル放送番組を簡単に録画することができます。

1 デジタル放送を見ているときに [●録画] を押す

2 地上デジタル放送の場合は、「地デジ」と「ワンセグ」のチェックを確認する

3 録画設定を変更する場合は、▲·▼で「録画設定」を選んで (決定) を押す

「録画対象」のチェックについて

- ☑ 地デジ … 地上デジタル放送の番組をUSBハードディスクに録画できます。
- ☑ ワンセグ … ワンセグ放送の番組をSDメモリーカードに録画できます。
  - 両方にチェックがある場合は、それぞれの番組をそれぞれに録画します。
  - チェックのあり／なしの変更は、▲·▼·◀·▶で「地デジ」または「ワンセグ」を選び、(決定)を押します。

録画時間を変更する場合

- 設定できる時間は、最大23時間59分です（ワンセグ放送の番組は最大5時間59分です）。
- 「ダイレクト録画時間設定」（準備編 48）で、あらかじめ録画開始からの録画終了時間を設定することができます。
  お買い上げ時は、録画終了時刻が2時間後に設定されています。

1. ▲·▼で「録画時間」を選び、(決定)を押す
2. ◀·▶で「時」または「分」を選び、▲·▼で終了時刻を設定し、(決定)を押す
3. ▲·▼で「設定完了」を選び、(決定)を押す

録画先の機器を変更する場合

1. ▲·▼で「録画機器」を選び、(決定)を押す
2. ▲·▼で録画機器を選び、(決定)を押す
3. ▲·▼で「設定完了」を選び、(決定)を押す

その他の録画設定を変更する場合

- 「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」37 をご覧ください。

4 ▲·▼·◀·▶で「はい」を選び、(決定)を押す

- 録画が開始されます。

録画を中止する

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- 録画機器の残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

1 録画中に (終了/■) を押す

2 「録画中止」の画面で、◀·▶で「はい」を選んで (決定) を押す

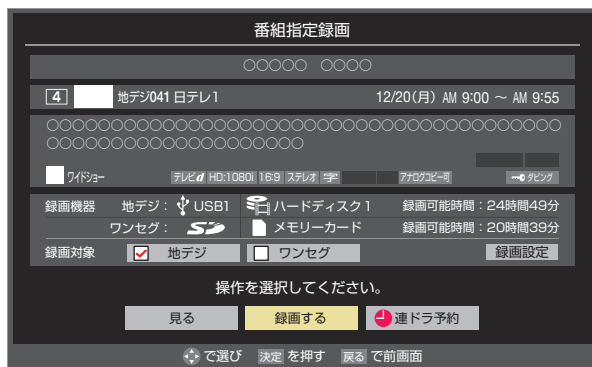
番組表で録画・予約をする

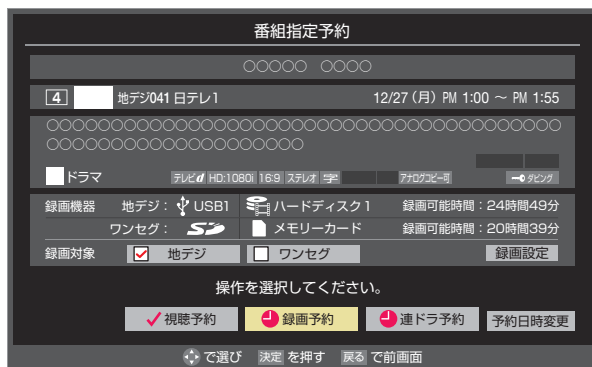
1 番組表 ○ を押す

2 録画・予約する番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

3 以下の操作で録画・予約をする

● 録画機器や設定を変更する場合は、37☞ の操作をします。

現在放送中の番組を選んだ場合

❶「録画対象」のチェックを確認する 30☞
❷ ▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定を押す
● 録画が開始されます。

これから放送される番組を選んだ場合

❶「録画対象」のチェックを確認する 30☞
❷ ▲·▼·◀·▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定を押す

- **視聴予約**
  指定した番組の視聴を予約します。
- **録画予約**
  指定した番組の録画を予約します。
- **連ドラ予約**
  1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。詳しくは次ページをご覧ください。

❸「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

予約する日時を変更する場合

● 日時指定予約設定メニューへ移動します。
❶ ▲·▼·◀·▶で「予約日時変更」を選び、決定を押す
❷ メッセージが表示されたら、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
❸「日時を指定して録画・予約をする」34☞ の手順4以降の操作をする

一発予約機能で予約する

● 選んだ番組を ●録画 を押すだけで録画予約できます。録画先は、最後に録画予約または録画実行した録画先(USBハードディスクまたはSDメモリーカード)になります。

❶ ▲·▼·◀·▶で録画したい番組を選び、●録画 を押す
● 放送中の番組の場合は、録画が始まります。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
● 重複している予約が取り消されます。
● 今回の予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
❸ 赤 を押して、取消しを実行する

「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
● ダウンロード予約が取り消されます。
● 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
● ダウンロードについては、66☞ をご覧ください。

● 本機の電源が「入」のときだけ、視聴予約をした番組に切り換わります。
● 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
● 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。17☞
● 録画予約の「放送時間」が「連動する」に設定されている場合で、録画予約番組の放送時間が遅延・延長などで視聴予約の開始時刻と重なったときは、視聴予約が取り消されます。
● 予約の確認や取消しについては、38☞ をご覧ください。

連続ドラマを予約する ～連ドラ予約～

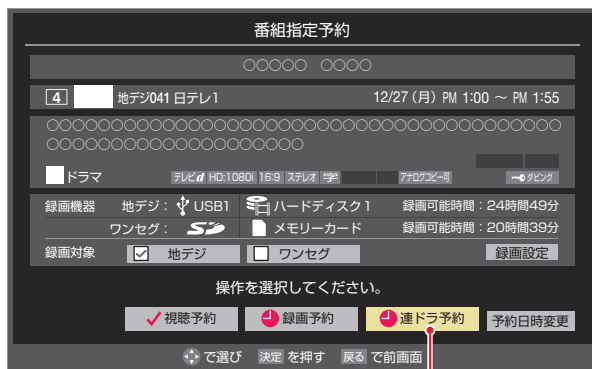
● 連続ドラマなどのシリーズ番組や連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

番組表で連ドラ予約をする場合

1 番組表を押す

2 連ドラ予約をしたい番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

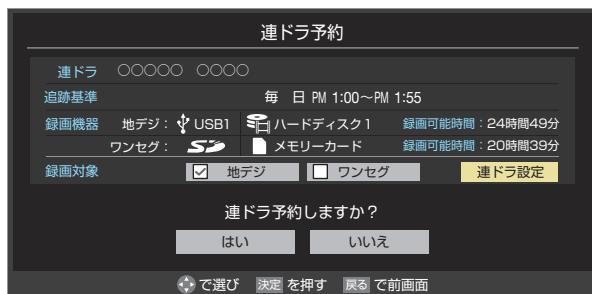
3 地上デジタル放送の場合は、「地デジ」と「ワンセグ」のチェックを確認する

● 「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」37の操作で、「録画先」を設定します。

4 ▲·▼·◀·▶で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

● 番組名（連ドラ）や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」37の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 左記手順5～7の操作をする

連ドラ予約の動作について

● 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）をもとに、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
※ 追跡基準（開始時刻）の前後約２時間が検索されます。

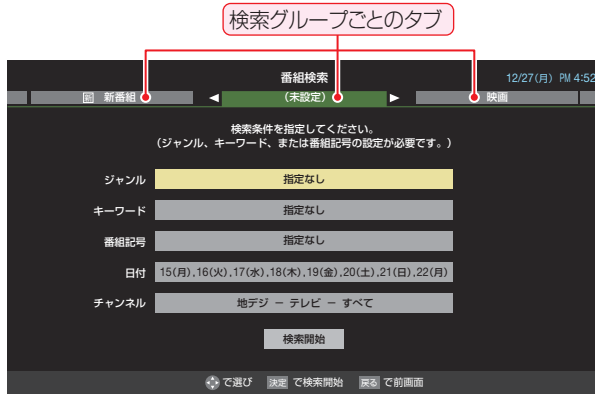
● 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

● 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
● 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合は、追跡基準の日時で録画されます。
● 追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。その場合、追跡基準の日時に録画をすることもできます。
● 映などの囲い文字は[映]などと表示されます。また、漢字の旧字などの特殊な文字は表示されない場合があります。
● 予約の確認や取消しについては、38をご覧ください。

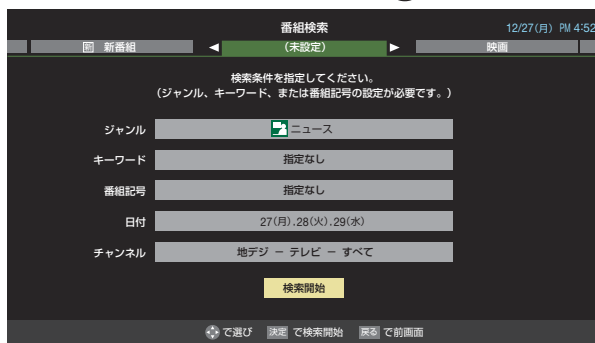
番組を検索して録画・予約をする

1 番組表を押す

2 緑（番組検索）を押す

● 番組検索画面が表示されます。

3 グループのタブを選んで、検索条件を指定する

● 操作方法は「条件を絞りこんで番組を探す」20☞の手順2～3と同じです。

4 ▲·▼で「検索開始」を選び、決定を押す

5 「番組検索結果」画面から録画・予約する番組を▲·▼で選び、決定を押す

6 録画・予約をする

● 操作方法は、「番組表で録画・予約をする」31☞の手順3と同じです。

● 放送中の番組を選んで、「録画する」を選択した場合は、録画が始まります。

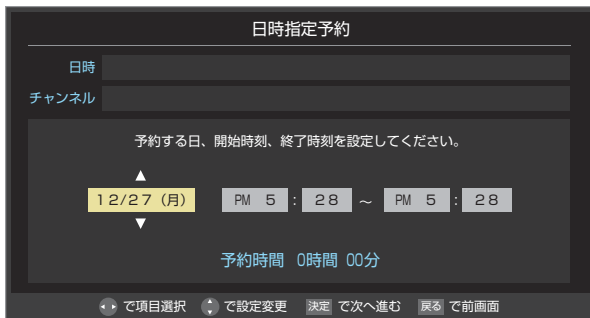
● 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

日時を指定して録画予約をする

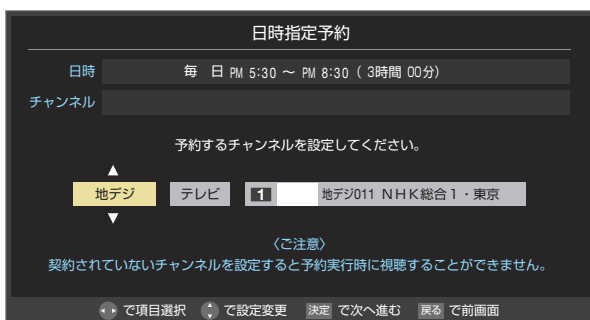
1 スタート を押す
- スタートメニューが表示されます。

2 ▲·▼で「予約を確認する」を選び、決定 を押す
- 予約リストが表示されます。

3 青 を押す
- 日時指定予約画面が表示されます。

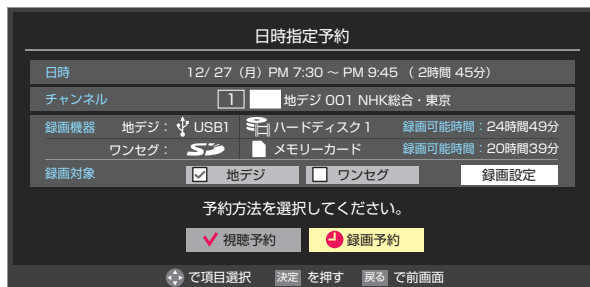
4 録画予約の日時を設定する

❶設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で日時を設定する
- 6週間先まで指定できます。
- 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週（月）」～「毎週（日）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷設定が終わったら、決定 を押す

5 録画するチャンネルを設定する

❶設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ
- 放送の種類………地デジ／BS／CS
- 放送メディア……テレビ／ラジオ（BS、110度CSのみ）／データ
- チャンネル………指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル
- ワンセグ放送の番組を録画する場合も、「地デジ」を選びます。

❷設定が終わったら、決定 を押す

6 録画設定を変更する場合は、37 の手順で操作をする

7 ▲·▼·◀·▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定 を押す

8 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定 を押す

メッセージなどが表示された場合

- 「以下の予約と重なっています。」、「予約数がいっぱいです。」、「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」のメッセージ表示された場合の操作については、31 をご覧ください。

- 日時指定予約では放送時間連動、映像信号、音声信号の変更設定はできません。
- 予約の確認や取消しについては、38 をご覧ください。

携帯電話やパソコンから録画予約をする

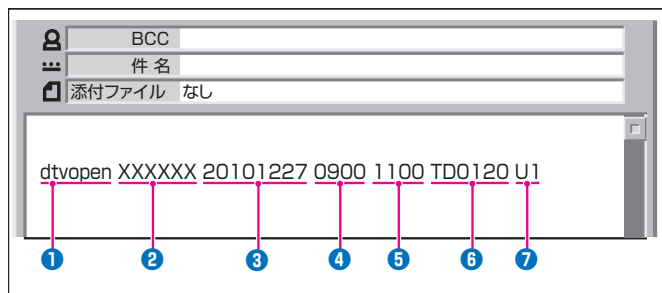
● 外出先などから携帯電話やパソコンを使って、6週間先までの範囲で本機に録画予約をすることができます。
● あらかじめ、接続や設定が必要です。「インターネットに接続する」（準備編 55 ）の章および、「携帯電話やパソコンから録画予約できるように設定する」（準備編 49 ～ 50 ）をご覧ください。
※ Eメール録画予約では、SDメモリーカードへの予約録画（ワンセグ放送の番組の録画）はできません。

Eメールで予約する

● パソコン、携帯電話のどちらからでも録画予約できます。

Eメールを作成し、送信する

※ 本機が対応しているのはテキスト形式のメールのみです。ほかの形式のメールには対応していません。
● メールの宛先は「Eメール録画予約設定」の「基本設定」で登録した「メールアドレス」です。
● 本機で使用できるのは、POP3を使用しているメールだけです。
● 録画予約ができるのは、予約メール1通につき1件です。
● 件名は自由に入力できます。
❶～❼はすべて半角文字で入力してください。各項目の間には半角スペースを入れてください。

メール作成画面（例）

❶識別コード
● 「dtvopen」と入力します。（小文字）

❷パスワード
● 「Eメール録画予約設定」で登録した「メール予約パスワード」を入力します。

❸録画日
● 西暦（4ケタ）月日（4ケタ）を入力します。
（1ケタの月日の場合は10の位に0を入れます）

❹録画開始時刻
● 00～23（時）に続けて00～59（分）を入力します。

❺録画終了時刻
● 00～23（時）に続けて00～59（分）を入力します。

❻録画チャンネル
● 放送の種類を表す略号とチャンネル番号を次のように入力します。

① **放送の種類を表す略号を入力する**

放送の種類	略号
地上デジタル放送	TD
BSデジタル放送	BS
110度CSデジタル放送	CS

② **略号に続けてチャンネル番号を入力する**

■ **地上デジタル放送の場合**
● 3ケタのチャンネル番号を入力します。
例 チャンネル番号：011の場合…TD011
※ 枝番を指定する場合は、3ケタのチャンネル番号と枝番を入力します。
（上の例で、枝番が3の場合…TD0113）

■ **BSデジタル／110度CSデジタル放送の場合**
● 3ケタのチャンネル番号を入力します。
例 BS103、CS001

❼録画先機器
● 録画先機器の略号と録画機器の番号を入力します。指定しない場合は、「Eメール録画予約設定」で登録した「録画機器」に録画されます。

録画機器	略号と番号	説明
USBハードディスク	U1～U8	数字は、「機器の登録」の画面（準備編 44 ）に表示される番号です。

返信メールを確認する

● 「Eメール録画予約設定」の「予約設定結果通知」を使用するように設定している場合は、予約メールの送信後しばらくすると本機からメールが返信されます。

「予約を登録しました。」の返信メールの場合

● 以上で予約が完了です。

その他の返信メールの場合

● 下表に従って作成メールを修正し、もう一度送信してください。本体側のエラーが発生する場合は、予約できません。

返信メールの内容	対処のしかた・他
予約を登録できませんでした。メールの書式が正しくありません。メールの書式を確認してください。	❶～❼の書式を確認します。
予約を登録できませんでした。本体で登録できる日時を越えています。	❸～❺が6週間先を超えていないか確認します。
予約を登録できませんでした。指定されたチャンネルは本体に設定されていません。	❻の指定が正しいか、確認します。
予約を登録できませんでした。指定された機器は本体に登録されていません。または接続されていません。	❼の指定が正しいか、確認します。
予約を登録できませんでした。本体側でエラーが発生しました。	本機の電源プラグが抜かれていることなどが考えられます。

● 予約メールは、「POP3アクセス時刻」（準備編 49 ）で指定した時刻に受信されます。（Eメールを本機で見ることはできません）
● 「Eメール録画予約設定」の「予約アドレス登録」で、メール録画予約に使用するパソコンや携帯電話のメールアドレスをすべて登録してください。

携帯電話やパソコンから録画予約をする つづき

Eメール録画予約時の注意事項

- パソコン側で、自動的にメールサーバーからメールを受信し、サーバー側のメールを削除するように設定している場合、本機で予約メールを受信する前に消えることがあります。サーバーにコピーを残すなどの設定が必要です。
- メールソフトによっては、自動的に改行されてしまうことがあります。その場合は、予約内容が正しく認識されません。
- メールサーバー内に極端に多くのメールがあると、予約メールを受信できない場合があります。
- 予約メールと同じ形式で始まるメールがあったとき、予約メールと判断して、パソコン側ではなく本機側で受信してしまう場合があります。
- 予約時に録画機器の状態(接続状態、ハードディスク残量)の確認は行われません。録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や、機器を認識できない場合は、録画はできません。
- メールのウイルス対策はされていません。
- 一度に受信可能な予約メールは15件です。残った予約メールは次回の予約メール受信時に処理されます。
- 正しく設定されていることを確認するために、事前に正しく録画できることをお試しください。

テレビサーフモバイルサービスで予約する

※ 携帯電話でだけ予約できます。
- テレビサーフモバイルサービスを利用することで、簡単な操作で携帯電話からメールでの録画予約ができます。
- iモード、EZweb、Yahoo!ケータイに対応しています。携帯電話の機種や契約内容によっては使えない場合があります。
- 録画先は「Eメール録画予約設定」(準備編 49ﾍﾟ～50ﾍﾟ)で設定した機器になります。

準備をする

❶ **携帯電話で「t@tvsurf.jp」宛てにタイトルと本文なしのメールを送る**
- メールを送信できない場合は、本文に文字を入れてください。
- QRコード(下図)からもメールの宛先を入手することができます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

❷ **会員登録ページのURLが記載されたメールが携帯電話に送られてきたら、メールの説明に従って登録をする**

❸ **会員登録が完了すると、録画予約用のURLが記載されたメールが携帯電話に送られてくるので、そのURLをブックマークに登録する**(携帯電話の「お気に入り」に登録する)

録画予約をする

❶ **録画予約用のURL(左記の❸を参照)にアクセスする**
はじめにトップページの「☆利用規約」、「☆退会」、「#.ヘルプ」、「ご注意」のリンクをクリックして、それぞれの内容をお読みください。

❷ **「☆メール予約」をクリックし、画面の手順に従って録画予約をする**
- 録画予約できるのはデジタル放送だけです。
- 予約設定画面の「録画用メールアドレス」と「パスワード」は、「Eメール録画予約設定」で設定したものを入力します。

- テレビサーフモバイルサービスは株式会社東芝が運営する携帯電話向けのテレビ録画予約サービスです。
- テレビサーフは株式会社東芝の商標です。
- iモードは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- EZwebはKDDI株式会社の商標です。
- Yahoo!ケータイはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。
- インターネットサービスプロバイダーおよびインターネット回線業者との契約が別途必要です。
- ご利用には別途通信料が発生します。
- テレビサーフモバイルサービスについてのお問合せ先は、上記「準備をする」❷で送られるメールに記載されています。

録画設定や連ドラ設定を変更するとき

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「録画設定」・「連ドラ設定」を▲・▼で選び、(決定)を押す

2 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、(決定)を押す

● そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

3 ▲・▼で内容を選び、(決定)を押す

4 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、(決定)を押す

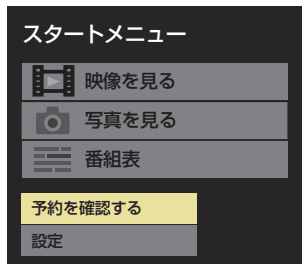
項　目	内　容
録画機器	• 録画をする機器を選びます。 • 複数USBハードディスクを接続しているときは、録画するUSBハードディスクを選びます。
保護	• 録画する番組を保護する（消さないようにする）かどうかを設定します。 録画後に設定することもできます。43
連ドラ	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます。（文字入力のしかたは 22 をご覧ください） 再生のときに見るナビの表示を「連ドラ別」にすれば、連ドラの名称ごとにグループ分けされた中から番組を探すことができます。 連ドラの名称（連ドラグループ名）はあとで変更することもできます。38
追跡キーワード	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます。 ※ 1回の放送に限られるようなキーワード（「第○○話」、出演者名など）は削除しておきます。
追跡基準	• 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。
上書き録画	• 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。
放送時間	• 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。 ※ 放送時間の繰上げには対応できません。 • 日時指定予約、連ドラ予約では設定できません。 • ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順については 39 をご覧ください。

予約の確認・変更・取消しをする

● 予約の確認、取消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。

予約の確認・変更・取消し

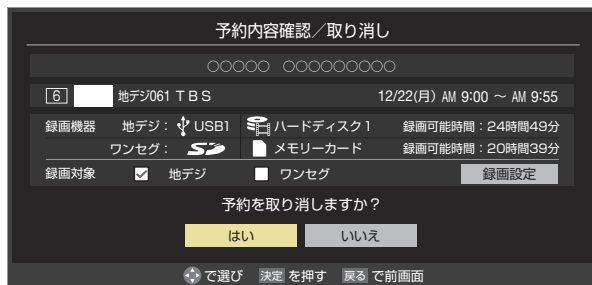
1 スタート ◯ を押す

2 ▲·▼で「予約を確認する」を選び、決定 を押す

● 予約リストが表示されます。

3 予約を確認する番組を▲·▼で選び、決定 を押す

4 以下の操作をする

予約を取り消すとき

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

録画設定を変更するとき

● 前ページの「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」の操作をします。

連ドラ予約番組の確認・変更・取消し

1 左記の手順 *1*、*2* の操作をする

2 連ドラ予約を確認する番組を予約リストから▲·▼で選び、決定 を押す

● 選んだ予約番組の「予約内容確認/取り消し」画面が表示されます。

※ 8日以上先の番組は表示されません。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

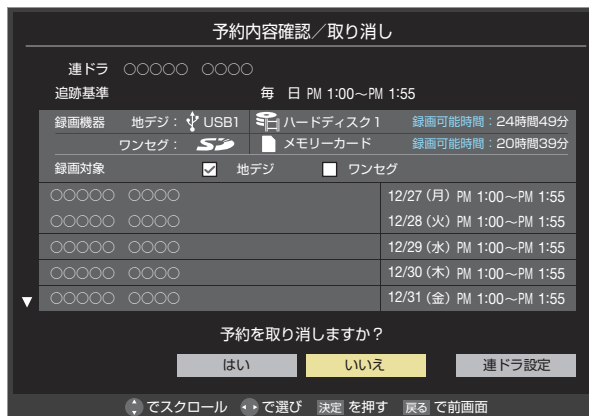
❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

「連ドラ設定」を変更する場合

❶ ▲·▼で「連ドラ設定」を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼で設定を変更する項目を選び、決定 を押す

● 設定画面に表示されている項目の内容については、前ページの「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」の表を参照してください。

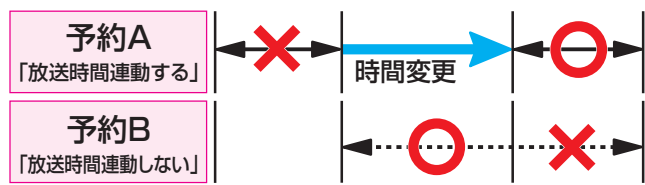
❸ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定 を押す

予約に関するお知らせ

予約番組の優先順位について

● 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

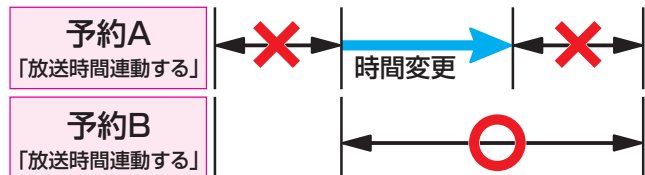
「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

● 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

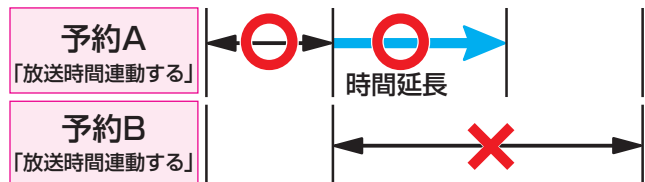
例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

❶開始時刻が変更された場合

● 開始時刻の早い予約が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの開始時刻が変更になったため、録画開始時刻の早い予約Bが優先されます。予約Aは取り消されます。

❷終了時刻が延長された場合

● 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの終了時刻延長に対応したため、先に予約を実行した予約Aが優先されます。予約Bは取り消されます。

❸複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

● 最初に予約設定した番組が優先され、2番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

予約の動作について

● 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

予約設定後

● 録画予約の場合は本体前面の「録画」表示がオレンジ色に点灯します。

予約した番組放送が始まるとき

● 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止する場合は、終了/■を押します。
● 視聴予約の場合は、電源が「入」のときのみ、予約した番組のチャンネルに切り換わります。
● 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わる場合があります。
● 録画予約の場合は、本体前面の「録画」表示が赤色に点灯します。
● 視聴予約した視聴制限のある番組が始まるときは、メッセージが表示されます。決定を押し、暗証番号（準備編 60）を入力してください。

予約した番組の放送中

● 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「＊＊＊を録画中です。終了を押すと録画を中止します。」または、「録画実行中は切り換えられません。」と表示されます。
● ●録画を押して録画しているときに予約した録画が始まると、●録画で開始した録画は中止されることがあります。

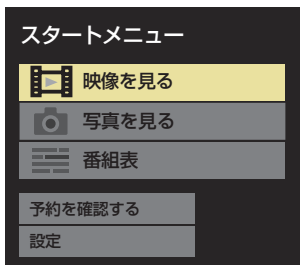
予約した番組の終了後

● 本機を通常どおり使用できます。
● 録画予約した番組の録画が終了した場合は、本体前面の「録画」表示が消えます。ほかにも録画予約がある場合は、「録画」表示はオレンジ色に点灯したままです。

録画した番組を再生する(見るナビ)

- USBハードディスクやSDメモリーカードに録画・保存されている番組を見るには、以下の操作をします。
- SDメモリーカードは本機に挿入しておき、USBハードディスクの電源を入れておいてください。

再生の基本操作

1 スタート を押し、▲·▼で「映像を見る」を選んで 決定 を押す

2 接続している再生機器が複数あるときは▲·▼·◀·▶で機器を選び、決定 を押す

- 見るナビが表示されます。
- SDメモリーカードは「メモリーカード」を選びます。(カードの記録内容によっては、「ワンセグ」と「デジタルビデオカメラ」の選択画面が表示されます。その場合は、「ワンセグ」を選びます。

※「検索中にエラーが発生しました。」が表示された場合は、機器の電源がはいっているか、正しく接続されているかなどを確認してください。

3 見たい番組を▲·▼で選び、決定 を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生されるまでに時間がかかる場合があります。

4 再生を停止させるには、戻る または 終了/■ を押す

- 戻る を押すと、見るナビの画面に戻ります。
- 終了/■ を押すと、放送画面に戻ります。

続きから再生する－レジューム再生

❶再生する番組を選んで 決定 を押す

- 左記の基本操作手順です。前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます。(機器によっては番組の冒頭から再生される場合があります)

※ SDメモリーカードの場合は、最後に再生した番組だけ、続きから再生されます。ただし、SDメモリーカードを抜き差しした場合や、電源を「切」(電源表示「消灯」)にしたときは、続きから再生されません。

番組の冒頭から再生する－頭出し再生

❶再生する番組を選んで 青 を押す

※ SDメモリーカードのワンセグ放送番組は、青 を押しても頭出し再生はされません。

録画中の番組を再生する－追っかけ再生

- 予約番組の録画が終了するまで待たずに再生することができます。

※ SDメモリーカードの追っかけ再生はできません。

❶録画中の番組を選んで 決定 を押す

USBハードディスクの見るナビ-録画番組

■ 見るナビについて

- 録画開始した直後の番組は、見るナビには表示されません。録画開始から数分後に見るナビに表示されます。
- 送信側の情報によっては、番組放送時間などが見るナビに正しく表示されない場合があります。
- 見るナビに表示できる最大数は500番組までです。ワンセグ番組は最大数は99番組までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。最大数は機器によって制限されることがありますので、各機器の取扱説明書でご確認ください。
- 地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定が変更された場合や、本機以外の操作で録画した番組の場合には、見るナビに正しく表示されないことがあります。
- 番組の表示時刻は実際の録画情報から算出しているため、USBハードディスクやSDメモリーカードの録画動作時間とは一致しない場合があります。
- 見るナビで選んだ番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると放送画面に戻ります。
- USBハードディスクの場合、番組冒頭部分の4秒間を飛ばして再生が始まります。(録画は番組開始時刻の4秒前から開始されるようになっています)

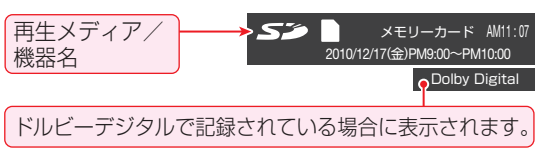
録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内　容
►/II 決定	録画番組の再生を開始します。再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
戻る	再生を停止し、見るナビに戻ります。
終了/■	再生を停止し、放送画面に戻ります。
►►	再生中に1回押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生（早見早聞）をします。さらに押すと、早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります） • SDメモリーカード内の番組は早見早聞再生できません
◄◄	早戻し再生をします。（押すたびに速さが変わります）
ワンタッチスキップ	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ） • 先に進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」（準備編 48）で変更できます。
ワンタッチリプレイ	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。（ワンタッチリプレイ） • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」（準備編 48）で変更できます。
►►I	録画日時が一つ次の番組を再生します。
I◄◄	再生中の番組の先頭に戻って再生します。 • 再生してから5秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。

録画番組の情報を見る

番組の情報を見る

❶ **再生中に 画面表示 を押す**

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。

❷ **表示を消すには、もう一度 画面表示 を押す**

- I◄◄、►►Iでスキップする順番は、見るナビの番組の並び順（新しい番組順、古い番組順）に関係なく、日時の古い順になります。
- 録画中の番組を再生しているときに早送りなどで現在録画中の場面まで進むと、機器によっては再生を停止することがあります。
- 録画中の番組再生での早送り／早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。

見たい録画番組を探して再生する

- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索できます。
- 録画番組のグループ(タブ)ごとに検索条件を設定できます。

※ SDメモリーカードに録画したワンセグ放送の番組は検索できません。
※ 録画中は検索できません。

1 見るナビを表示中に クイック を押し､｢番組検索｣を▲･▼で選び、決定を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。

2 検索するグループのタブを◀･▶で選ぶ

3 検索条件を指定する

- ｢ジャンル｣､｢キーワード｣､｢番組記号｣､｢チャンネル｣の指定方法は､｢条件を絞りこんで番組を探す｣ 20 の手順3と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

｢日付｣を指定するとき

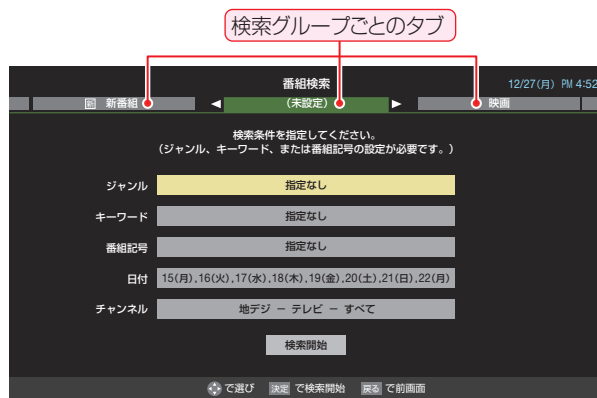
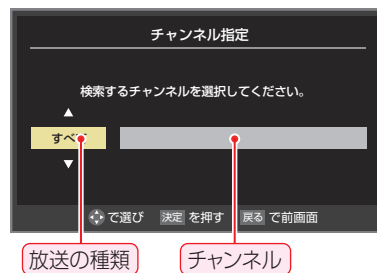
❶ ▲･▼で｢日付｣を選び、決定を押す

❷ ◀･▶で左端の欄に移動し、▲･▼で｢指定する｣を選ぶ

❸ ◀･▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲･▼で選ぶ

❹ 指定が終わったら、決定を押す

｢チャンネル｣を指定するとき

❶ ▲･▼で｢チャンネル｣を選び、決定を押す

❷ 指定する項目を◀･▶で選び、▲･▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**… すべて／ BS ／ CS ／地デジ
- **チャンネル**… 指定した放送の種類に該当するチャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、決定を押す

4 ▲･▼･◀･▶で｢検索開始｣を選び、決定を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

5 見たい録画番組を▲･▼で選び、決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。

消さないように保護する／不要な録画番組を消す

消さないように保護する

- 誤って消してしまわないように、録画番組を保護することができます。（機器によってはできないことがあります）
- 見るナビの表示中に以下の操作をします。

※ 録画中にこの操作はできません。
※ SD メモリーカードに録画したワンセグ放送の番組は保護できません。

1 保護する番組を▲･▼で選び、緑を押す

- 選択した番組が保護されます。（🔒がつき、削除やムーブはできなくなります。）
- 緑を繰り返し押すたびに保護と解除が交互に切り換わります。

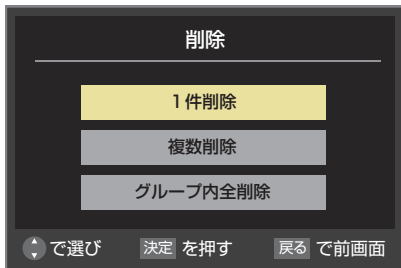
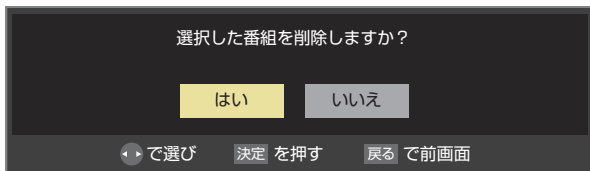
不要な録画番組を消す

- 見終わった録画番組などを消す（削除する）場合は、見るナビを表示中に以下の操作をします。

一つの録画番組を消す

1 消す番組を▲･▼で選び、赤を押す

- 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除してから赤を押してください。（上記を参照）

2 ▲･▼で「1件削除」を選び、決定を押す

3 確認画面で、◀･▶で「はい」を選んで決定を押す

4 削除が終了したら、決定を押す

複数の録画番組を消す

1 消す番組のどれかを▲･▼で選び、赤を押す

2 ▲･▼で「複数削除」を選び、決定を押す

3 消す番組を▲･▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑と□が交互に切り換わります。削除する番組に✓をつけます。
- 一度に削除できるのは128番組までです。
- 保護を解除する場合は、保護されている番組を選び、青を押します。（🔒を消します）

4 選択が終わったら、赤を押す

5 左記手順*3*、*4*の操作をする

グループ内の録画番組をすべて消す

1 まとめて消すグループの見るナビを表示させる

- 次ページの「見るナビの表示のしかたを変える」をご覧ください。

2 赤を押し、▲･▼で「グループ内全削除」を選び、決定を押す

3 左記手順*3*、*4*の操作をする

自動的に消す

- お買い上げ時は、ハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「削除しない」に設定してください。

1 スタートを押し、▲･▼と決定で「設定」⇨「外部機器設定」⇨「USBハードディスク設定」⇨「自動削除設定」の順に進む

2 ▲･▼で「削除する」または「削除しない」を選び、決定を押す

その他の操作をする

見るナビの表示のしかたを変える

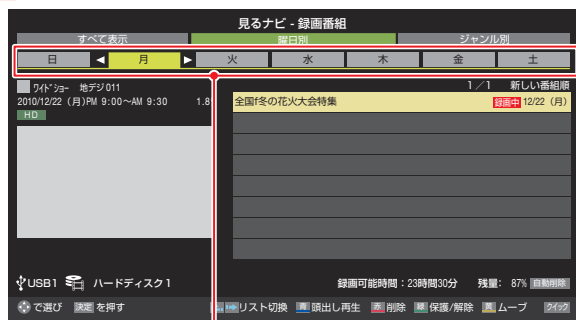
● 見るナビで、すべての録画番組を表示させたり、グループ別に表示させたりすることができます。
※ SDメモリーカードに録画したワンセグ放送の番組は、「ジャンル別」、「連ドラグループ別」に切り換えることはできません。

1 〔◀〕、〔▶〕で表示形式を選ぶ

- **すべて表示**…………すべての録画番組が表示されます。
- **曜日別**…………録画した曜日ごとに表示されます。
- **ジャンル別**…………ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- **連ドラグループ別**…「連ドラ予約」32 の予約ごとに表示されます。「連ドラ予約」で録画した番組がない場合は選択できません。

2 表示する曜日や項目などのタブを◀·▶で選ぶ

※「すべて表示」以外は、タブが表示されます。

例「曜日別」を選択

曜日別の場合は、曜日のタブを選びます。

繰返し再生の設定を変える

● リピート再生や保護番組リピート再生の設定ができます。
● 設定は機器ごとに記憶されます。
※ SDメモリーカードに録画したワンセグ放送の番組は保護番組リピート再生できません。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「リピート再生設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **リピートオフ**…………通常の再生をします。
- **リピート再生**…………一つの番組を繰り返して再生します。
- **保護番組リピート再生**…保護している番組を順次再生します。再生される順番は見るナビの古い番組順になります。

● 設定した「リピート再生」、「保護番組リピート再生」のアイコンは、録画した番組を再生した際にタイムバー表示で確認できます。
● 録画中の番組はリピート再生ができません。

番組を並べ替える

● 見るナビに表示される番組の並び順を変えることができます。
● 設定は機器ごとに記憶されます。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「並べ替え」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **新しい順**…………日付の新しい順に表示されます。
- **古い順**…………日付の古い順に表示されます。

■ 保護番組リピート再生について
● 保護番組リピート再生をする際は、再生の切り換わりのときにまれに音声がひずむことがあります。
● 保護番組リピート再生時であっても、見るナビの全番組が再生番組の対象となります。
● 保護されていない番組を選んだ場合は、その番組だけが繰り返し再生されます。
● 早送りで次の保護された番組に移動すると通常再生になります。

グループ名を変更する

- 見るナビの表示を「連ドラグループ別」にしたときに、連ドラグループのタブ名を変更することができます。

※ 番組の録画中にこの操作をすることはできません。
※ ワンセグの見るナビは、連ドラグループ別に表示できないため、本操作はできません。

1 、 で「連ドラグループ別」を表示する

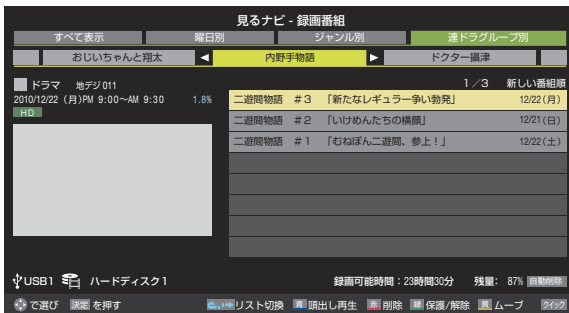
2 名前を変更するグループのタブを◀·▶で選ぶ

例「二遊間物語」を選択

3 クイックを押し、▲·▼と（決定）で「連ドラグループ名の変更」を選び、（決定）を押す

4 文字入力画面でグループ名を入力する

- 文字入力のしかたは、 22 をご覧ください。
- 全角文字で15文字まで入力できます。
- 文字入力の操作が終わると、見るナビのグループタブ名が変更されます。

例「二遊間物語」⇨「内野手物語」に変更

連ドラ予約をする

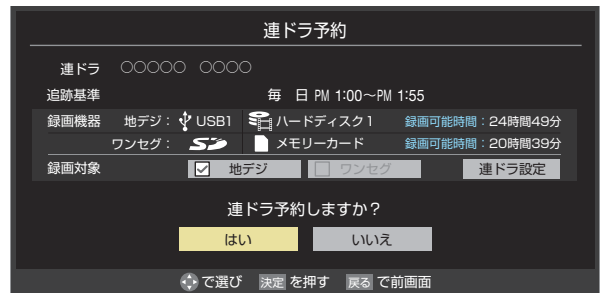
- 見るナビに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

※ ワンセグ放送の番組は、見るナビから連ドラ予約に変更できません。

1 連ドラ予約にする番組を▲·▼で選び、クイックを押す

2 ▲·▼で「連ドラ予約」を選び、（決定）を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀·▶で「はい」を選んで（決定）を押す

- 録画予約する曜日などが正しく表示されているか確認してください。

設定を確認・変更するとき

❶ ▲·▼で「連ドラ設定」を選び、（決定）を押す

❷ 設定を変更する項目を▲·▼で選び、（決定）を押す

- 「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」 37 の表を参照してください。
- 追跡キーワードを確認し、必要に応じて編集してください。

❸ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、（決定）を押す

その他の操作をする つづき

ほかの機器を選択する

- 見るナビの表示中に、見たい機器を変更するには以下の操作をします。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「機器選択」を選び、決定を押す

- 機器選択画面が表示されます。

※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

3 見たい機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

USBハードディスク／SDメモリーカードの残量を確認する

- 見るナビの表示中に、USB ハードディスクやSD メモリーカードの残量を画面で確認できます。

※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。

※ ハードディスクの残量は、BSデジタルハイビジョン放送（24Mbps）を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送（約17Mbps）の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「ハードディスク残量表示」または「SDメモリーカード残量表示」を選び、決定を押す

- 残量表示画面が表示されます。

3 残量表示画面を消すには、決定を押す

USBハードディスクに録画した番組を移動(ムーブ)する

● 本機でUSBハードディスクに録画した番組を、本機につないだ別のUSBハードディスクに移動(ムーブ)することができます。
- 機器の接続や設定については、「USBハードディスクの接続・設定をする」(準備編 43 ～ 45)をご覧ください。

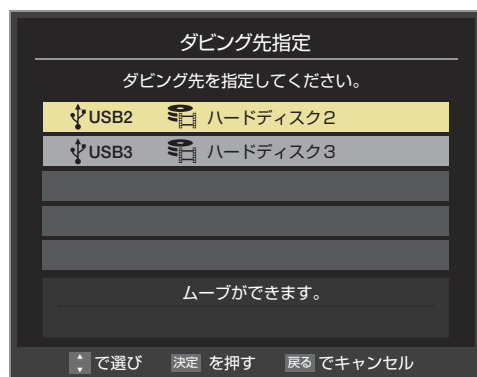
※ 録画中はムーブできません。
※ SDメモリーカードにはムーブできません。また、SDメモリーカード内の録画番組はムーブできません。
※ ムーブ中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

1 見るナビを表示させる(40 1～2)

2 ムーブする番組を▲·▼で選び、黄を押す

3 ▲·▼で「1件ムーブ」または「複数ムーブ」を選び、決定を押す

4 ムーブ先を▲·▼で選び、決定を押す

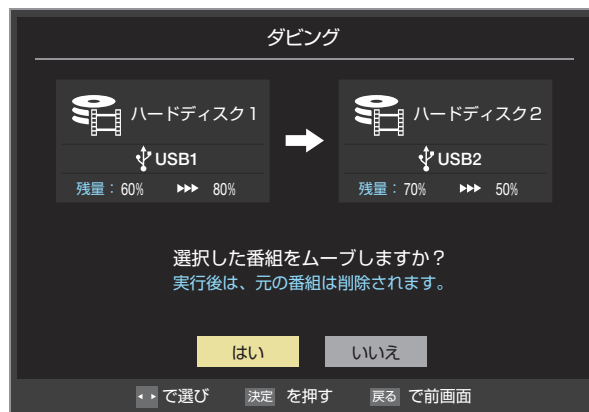
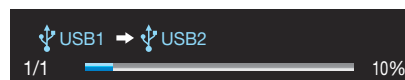
● ムーブ先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。

5 「複数ムーブ」の場合は以下の操作をする

❶ 複数選択画面で、ムーブする番組を▲·▼で選んで決定を押す

● 決定を押すたびに、☑と□が交互に切り換わり、✓を付けた番組がムーブされます。
● 保護を解除する場合は、保護されている番組を選び、青を押します。

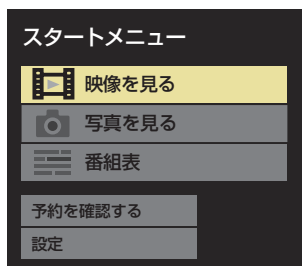
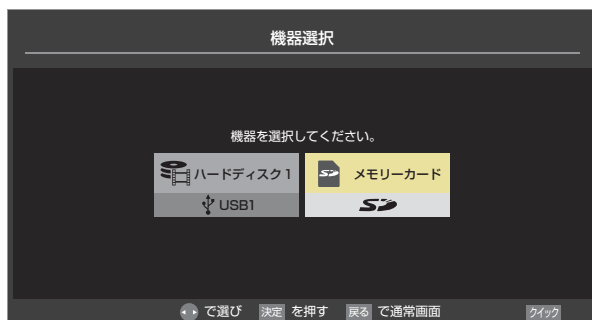
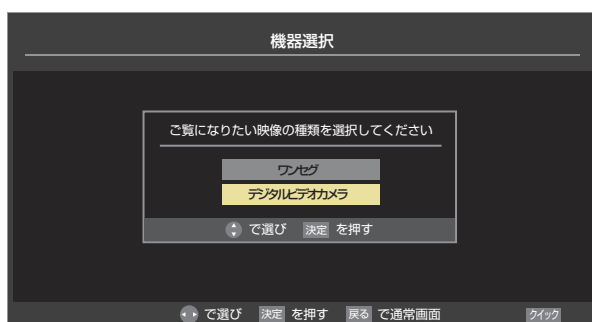
❷ ムーブする番組をすべて選んだら、黄を押す

● 一度にムーブできるのは16番組までです。

6 「ムーブ」画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

● 番組のムーブ中は本体前面の「録画」表示が赤色に点灯します。
● ムーブが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。

デジタルビデオカメラで記録した動画を再生する

- SDメモリーカードにAVCHD形式(ハイビジョン映像を8cmDVDやメモリーカードに記録するためのデジタルビデオカメラのフォーマット)で記録した動画だけ再生できます。

1 SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットに挿入する(準備編 46)

2 スタートを押し、▲·▼で「映像を見る」を選んで決定を押す

3 ▲·▼·◀·▶で「メモリーカード」選び、決定を押す

4 ▲·▼で「デジタルビデオカメラ」を選んで決定を押す

- SDメモリーカードにワンセグ放送の番組が録画されていない場合は本選択画面は表示されません。
- デジタルビデオカメラのフォルダ一覧が表示されます。

5 ▲·▼で再生したいフォルダを選んで決定を押す

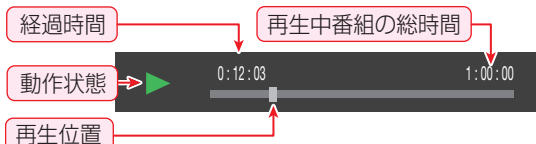
- タイトル一覧が表示されます。

6 ▲·▼で再生したいタイトルを選んで決定を押す

- 選んだタイトル(動画)の再生が始まります。
- 動画を終了するときは、終了/■を押します。

再生中の動画の情報を見る

1 再生画面表示中に[画面表示]を押す

- 情報が表示されます。

フォルダの順番を並べ替える

1 [クイック]を押す

2 ▲·▼で「並べ替え」を選び、(決定)を押す

3 ▲·▼で以下から選び、(決定)を押す

- 新しい番組順 ····日付の新しい順に表示されます。
- 古い番組順 ········日付の古い順に表示されます。

繰返し再生の設定を変える

- 動画の繰返し再生（リピート再生）を設定することができます。

1 [クイック]を押す

2 ▲·▼で「リピート」を選び、(決定)を押す

3 ▲·▼で以下から選び、(決定)を押す

- **リピート再生** 一つの番組を繰り返して再生します。
- **リピートオフ** 繰返し再生をしません。

- 設定した「リピート再生」のアイコンは、タイトル（動画）を再生した際にカウンター表示で確認できます。

機器を選択する

1 [クイック]を押す

2 ▲·▼で「機器選択」を選び、(決定)を押す

- 機器選択画面が表示されます。

3 ▲·▼·◀·▶で機器を選び、(決定)を押す

SDメモリーカードの残量確認する

- SDメモリーカードの残量を画面で確認できます。

1 [クイック]を押す

2 ▲·▼で「SDメモリーカード残量表示」を選び、(決定)を押す

- 機器選択画面が表示されます。

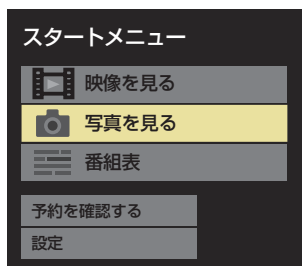
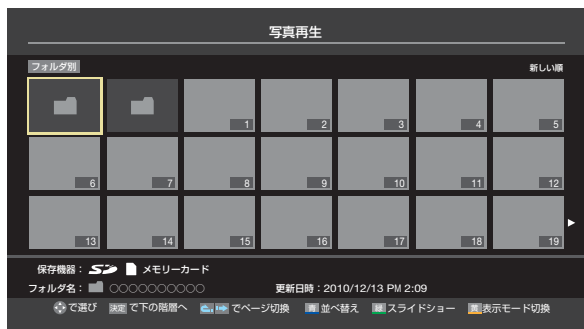
3 残量表示画面を消すには、(終了/■)を押す

- 表示できるフォルダ数は1200、タイトル数は999までです
- デジタルビデオカメラで記録した動画をUSBハードディスクにムーブやコピーすることはできません。

写真を見る

● デジタルカメラなどで撮影し、SD メモリーカードに記録した写真（JPEG ファイルの画像だけ）を見ることができます。

1 SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットに挿入する

2 スタートを押し、▲·▼で「写真を見る」を選んで決定を押す

● 写真やフォルダがマルチ表示されます。

3 以下の操作で写真を見る

1枚だけ拡大して表示する（シングル表示）

① ▲·▼·◀·▶で写真を選び、決定を押す
- フォルダの中の写真を見るには、▲·▼·◀·▶でフォルダを選び、を押してフォルダを開きます。

※ 上の階層に戻るときは、戻るを押します。
- ◀·▶で前や次の写真を選びます。

自動的に順番に表示する（スライドショー表示）

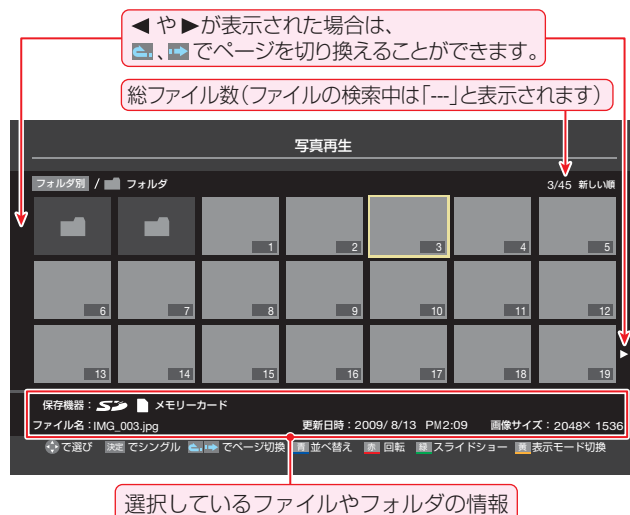
① マルチ表示やシングル表示のときに、緑を押す
- 選んでいる写真から順番に表示します。

※ 上の階層に戻るときは、戻るを押します。
- スライドショーを一時停止するには青を押します。もう一度押すと再び再生します。
- 見たい写真を◀·▶で選ぶことができます。
- マルチ表示に戻るには緑を押します。
- シングル表示に戻るには赤を押します。

4 写真を見終わったら終了/■を押して、写真再生を終了させる

写真の表示形式について

● 「本機での写真の表示は、以下の種類があります。
- **マルチ表示**
  写真やフォルダをサムネイル（一覧表）で表示します。通常表示とシームレス表示（DCIMフォルダがあるときのみ）の2種類があります。

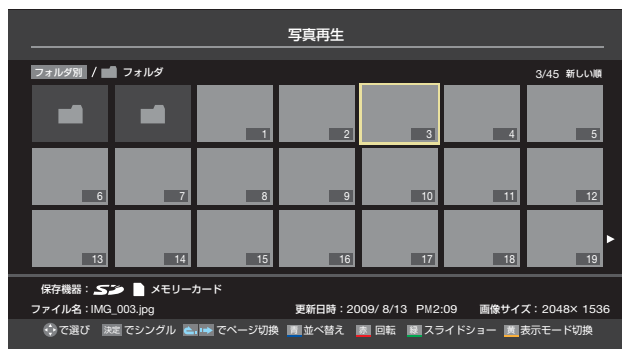
マルチ表示（通常表示）

- 複数の写真と、同じ階層にあるフォルダが合計1000枚まで表示されます。

※ 階層が深い場合や、ファイル名、フォルダ名が長い場合は表示できないことがあります。

マルチ表示（シームレス表示）

- 複数の写真が1000枚まで表示されます。（フォルダは表示されません。）ファイル数が多い場合や、JPEG以外のファイルがある場合は表示に時間がかかることがあります。
- 黄を押して通常表示とシームレス表示を切り換えることができます。

- **シングル表示**
  1枚の写真を画面に表示します。
- スライドショー表示
  シングル表示の写真を、自動で順番に表示します。

写真再生画面について

順番を並べ替える

● マルチ表示（通常表示）の写真を並べ替えることができます。

① マルチ表示やシングル表示のときに、青を押す
- 青を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- フォルダが先に並び、写真が次に並びます。

写真を回転させる

① シングル表示のときに、赤を押す
- 赤を押すたびに時計回りに90度ずつ回転します。
- 回転した状態は保存されません。

スライドショーの表示時間の間隔を設定する

● 写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間を設定します。

① スライドショー表示のときに、赤を押す
② ▲·▼·◀·▶で表示時間の間隔を選び、決定を押す

再生できる写真（静止画ファイル）

圧縮方式	JPEG準拠
静止画ファイルフォーマット	Exif ver2.2準拠
画素数	4096×4096ピクセル以内
ファイルサイズ	24MB（メガバイト）以内

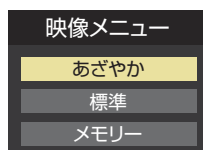
※ 上記以外の静止画ファイルの場合は、表示できないか、または表示するのに時間がかかります。

お好みの映像メニューを選ぶ

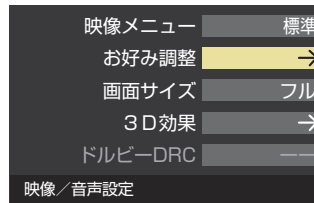
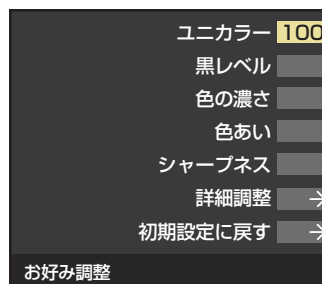
- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
- 映像メニューは、放送の映像や各入力端子の映像でそれぞれ記憶させることができます。

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「映像／音声設定」⇨「映像メニュー」の順に進む

2 お好みの映像メニューを▲･▼で選び、決定を押す

- 選択できる映像メニューは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像メニューは表示されません。

映像メニュー	内　容
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむ場合に適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむ場合に適した設定です。(日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です)
メモリー	お好みに調整した映像で楽しむときに選びます。

お好みの映像に調整する

1 クイックを押し、▲･▼と決定で「映像／音声設定」⇨「お好み調整」の順に進む

2 調整する項目を▲･▼で選び、決定を押す

3 以降の手順(53まで)でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順**2**から繰り返します。(「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」の調整時は、▲･▼を押せば調整項目を切り換えることができます)

ユニカラー

- 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

❶ ◀･▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

- 「00」～「100」の範囲で調整できます。(数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります)。

黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。

❶ ◀･▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「−50」(暗く)～「+50」(明るく)の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

❶ ◀･▶でお好みの濃さに調整し、決定を押す

- 「−50」(淡く)～「+50」(濃く)の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色合いを調整します。

❶ ◀･▶でお好みの色あいに調整し、決定を押す

- 「−50」(紫を強く)～「+50」(緑を強く)の範囲で調整できます。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。

❶ ◀·▶でお好みの映像に調整し、(決定)を押す

- 「−50」(やわらか)〜「+50」(くっきり)の範囲で調整できます。

詳細調整

レゾリューションプラス設定

- 緻密で精細感のある映像を表示します。
- 「レゾリューションプラス設定」を選択して(決定)を押すと、「レゾリューションプラス」、「レベル調整」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。

※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラス

- レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「レベル調整」は機能しません。
- レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

① ▲·▼で「レゾリューションプラス」を選び、(決定)を押す

② ▲·▼で以下から選び、(決定)を押す

- **オート** ····· レゾリューションプラスの機能が働きます。
- **オフ** ········· レゾリューションプラスは働きません。

レベル調整

① ▲·▼で「レベル調整」を選び、(決定)を押す

② ◀·▶で調整し、(決定)を押す

調整範囲	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
01 〜 05	

色温度

- 画面全体の色味を調整します。

① ◀·▶で調整し、(決定)を押す

調整範囲	調整レベルの数値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
00 〜 10	

② ▲·▼で「Gドライブ」(緑)または「Bドライブ」(青)を選び、◀·▶で調整する

- 明るい部分の色温度を微調整します。

調整範囲	調整レベルの数値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
−15〜+15	

ガンマ調整

- 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

① ◀·▶で調整し、(決定)を押す

調整範囲	数値が大きくなるほどメリハリが強調されます。
−05〜+05	

初期設定に戻す

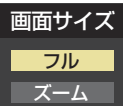
- 「お好み調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

❶ ◀·▶で「はい」を選び、(決定)を押す

画面サイズの設定をする

● 視聴する映像に合わせて、画面サイズを設定します。（通常は「フル」に設定しておくことを、おすすめします。）

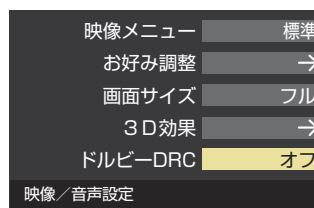
1 クイックを押し、▲·▼と決定で「画面サイズ」の順に進む

2 ▲·▼で「フル」または「ズーム」を選び、決定を押す

- フル……通常こちらに設定しておきます。
- ズーム..ワイド映像をテレビ画面全体に表示します。

お好みの音声に調整する（ドルビー DRC）

ドルビー DRC

● コンテンツなどの違いで生じる音量差を減らして聞きやすくなるように、音声レベルが自動的に補正されます。
● ドルビーデジタルで記録されたコンテンツなどを視聴する場合に使用できます。（HDMI入力端子に接続した機器からのコンテンツ）
※ 放送番組を視聴しているときは、効果は得られません。
※ HDMI入力端子に接続した機器からのコンテンツを視聴するときは、ドルビーデジタルの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください。

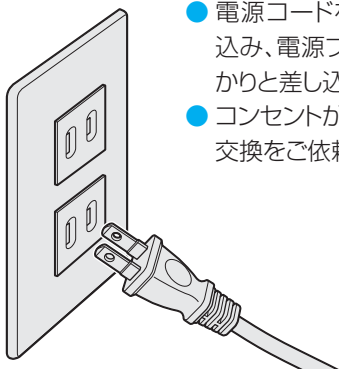
1 クイックを押し、▲·▼と決定で「映像／音声設定」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で「オン」または「オフ」選び、決定を押す

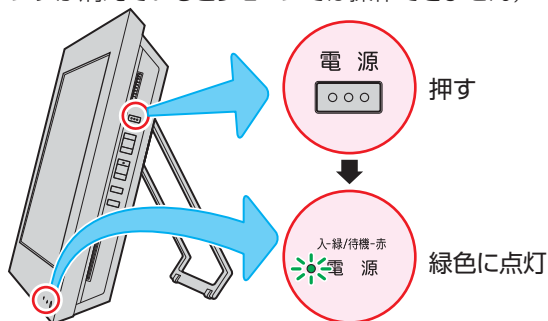
- オン ドルビー DRCの機能を使用します。
- オフ ドルビー DRCの機能を使用しません。

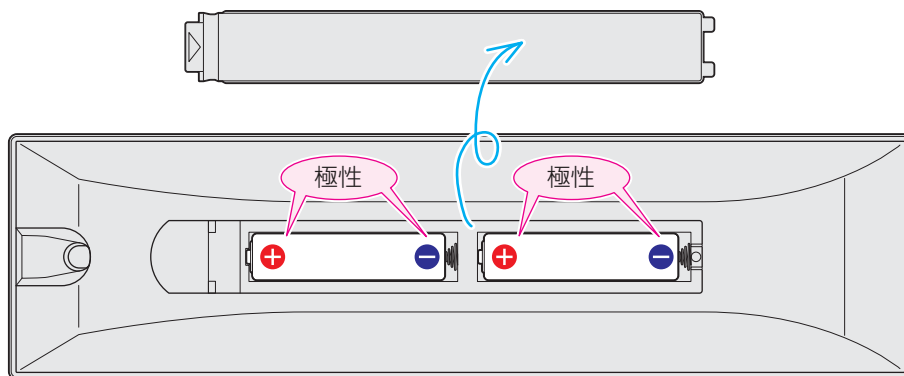
● 「映像／音声設定」のメニューに表示される「3D効果」については、25☞をご覧ください。

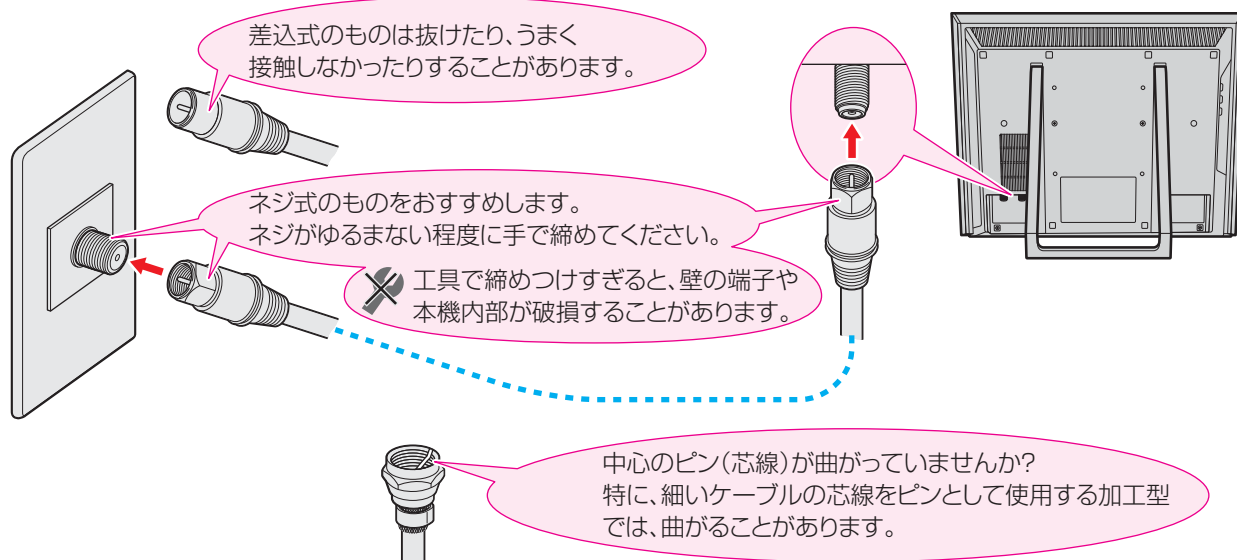
はじめにご確認ください

電源プラグやACアダプターが抜けていませんか?

● 電源コードをACアダプターに差し込み、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
● コンセントがゆるいときは、電気店に交換をご依頼ください。

「電源」の表示が消灯していませんか?

● 本体の電源ボタンで電源を入れてください。(電源表示ランプが消えているとリモコンでは操作できません)

リモコン乾電池の極性は正しいですか? 乾電池が古くなっていませんか?

● 乾電池に表示された極性(+、−)の向きを確認してください。
● 新しい乾電池と交換してみてください。

アンテナ線の差込みがゆるんでいたり、抜けていたりしていませんか?

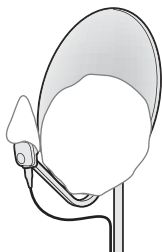
● 壁のアンテナ端子および本機にしっかりと接続してください。

こんな場合は故障ではありません

悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

大雨が降っている

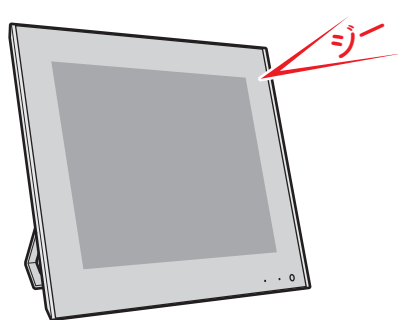
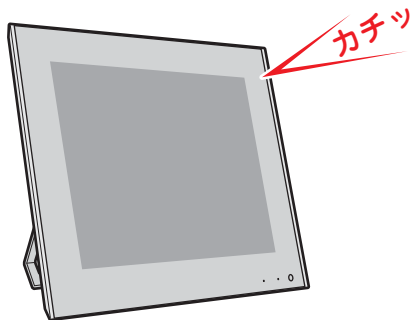
大雪が降っている

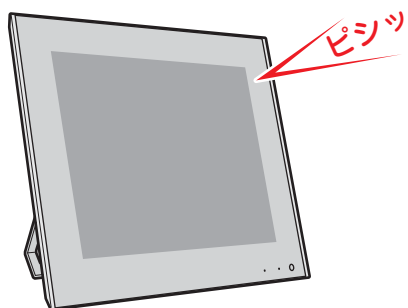
アンテナに雪が積もっている

アンテナ接続か受信環境に不具合があるため、ご覧になれません。
ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。
青 ボタンでアンテナレベルをご確認ください。
コード ： E202

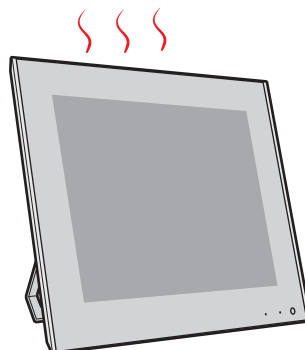
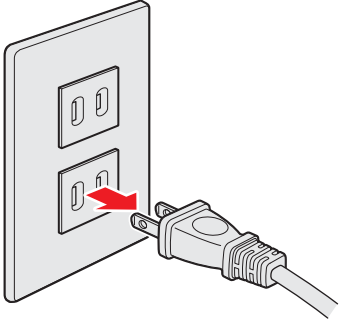
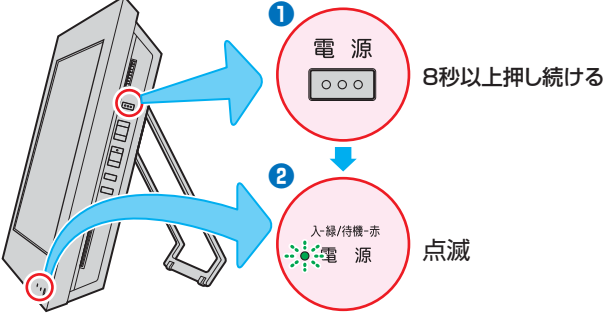
現在放送されていません。
コード ： E203

本機内部からの動作音

- 電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。

- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」といううきしみ音

- 「ピシッ」といううきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

- 使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。準☞は、別冊「準備編」のページです。

テレビが操作できなくなったとき－テレビをリセットする

- リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合や、USBハードディスクが認識されないなどの場合は、以下の操作をしてみてください。

リセットのしかた	操作で対処したいとき
❶電源プラグをコンセントから抜く	❶テレビ本体の電源ボタンを押し続ける ❷本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す

❷1分間以上待つ

❸電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる

- しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	• 電源プラグをコンセントに差し込みます。	－
本機とACアダプターと電源コードが接続されていますか。	• 接続して電源を入れてください。	
「電源」表示が消えていませんか。	• 本体右側面の電源ボタンを押して電源を入れます。 ※「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	10☞
「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	－

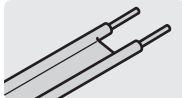
リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	• 障害物を取り除きます。 リモコン受光部の位置は、右記のページでご確認ください。	準30☞
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換します。	準29☞
リモコンの乾電池の向き（＋、－）が合っていますか。	• 向き（＋、－）を確認し、正しく入れてください。	準29☞
リモコンコードの設定を変えませんでしたか。	• 「リモコンコード設定」を参照して、本体とリモコンの設定をやり直します。	準63☞
本体のボタンでは操作ができますか。	• 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	－

症状に合わせて解決法を調べる つづき

映像

放送の映像が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	準24～準28
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします。（折らないようにご注意ください）	－
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	－
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。（販売店にご相談ください）	－
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 • アンテナ線を分配して接続します。	準28

映像が伸びてしまったり、画面内におさまらなかったりする

確認すること	解決法・その他	ページ
画面サイズ設定が「ズーム」に設定していませんか。	• ワイド放送のなかには、映像がフルモードで記録されたものがあります。この場合、画面サイズ設定を「フル」に設定します。	54

接続した機器の映像が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	• 確認して正しく接続します。	準51～準55
機器の電源がはいっていますか。	• 機器の電源を入れます。	－
接続した機器の入力に切り換えましたか。	• 本体またはリモコンの切換で、外部機器を接続した入力端子を選びます。	23

放送がきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。（販売店にご相談ください）	－
アンテナ線に平行フィーダー線（下図）を使っていませんか。	• 同軸ケーブルに交換します。 ※ 平行フィーダー線を使用すると、自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、ヘアードライヤーなどからの妨害や、他の機器や無線局などからの電波混信の影響を受けやすくなります。	－

映像(つづき)

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューになっていますか。	• 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 • お好みの映像に調整することもできます。	52 52

画面が暗い

確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさにあった映像メニューになっていますか。	• 明るい部屋では、映像メニューを「あざやか」に設定してみます。 • お好みの映像に調整することもできます。	52

音声

音声が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	• [+音量−]で音量を上げます。	13
画面に 消音 マークが表示されていませんか。	• [消音]を押すと消音を解除できます。 ([+音量−]でも解除されます)	13

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
B-CASカードが正しく挿入されていますか。(カードの上下や裏表は正しいですか)	• B-CASカードを正しい向きで奥まで挿入します。 ※ B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は受信できません。	準23
地上デジタル放送に適合したUHFアンテナを使用していますか。	• 地上デジタル放送に対応したアンテナに接続します。お買い上げの販売店にご相談ください。	準24
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• クイックメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	準36 準35
「初期スキャン」をしましたか。	• 「初期スキャン」をします。	準38
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• 地上デジタル放送が行われているかを、お近くの電気店などにお聞きください。 • 社団法人デジタル放送推進協会のホームページ(www.dpa.or.jp/)で確認することもできます。	−
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)	−

引越しをしたら、地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
引越し後、「初期スキャン」または「再スキャン」をしましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」をします。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」をします。	準38

症状に合わせて解決法を調べる つづき

BS/110度CSデジタル放送

BS/110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
B-CASカードが正しく挿入されていますか。(カードの上下や裏表は正しいですか)	• B-CASカードを正しい向きで奥まで挿入します。 ※ B-CASカードを挿入しないとデジタル放送や「放送局からのお知らせ」の受信はできません。	準23
電波の種類(BS/110度CSデジタル)に適合したアンテナを使用していますか。	• 放送に対応したアンテナに接続します。 お買い上げの販売店にご相談ください。	準24
アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外では、本機のアンテナ電源供給を「供給する」に設定します。	準36
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	• 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	準26
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• クイックメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	準36
有料放送ではありませんか。	• 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 ※ 同梱の「ファーストステップガイド」をご覧ください。	–
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	• 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 • ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。(地上デジタル放送を確認する場合は、VHF/UHF(75Ω)アンテナ入力端子へ) • BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子とVHF/UHF(75Ω)アンテナ入力端子に接続します。	準35

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんでしたか。	• 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 • 「番組表を更新する」の操作をします。	– 18

番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
–	• 番組表のクイックメニューの「文字サイズ変更」で、文字の大きさを変更することができます。	17

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1チャンネル表示」にしていませんか。	• 番組表のクイックメニューで「マルチ表示」を選択します。	18
「チャンネルスキップ設定」で「スキップ」に設定していませんか。	• 「チャンネルスキップ設定」で「受信」に設定します。	準40

お知らせアイコン i が消えない

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• クイックメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、アイコンは消えません。	67

3D映像

3D映像(立体映像)にならない

確認すること	解決法・その他	ページ
3D映像に切り換わっていますか。	• リモコンの 3D を押してみます。	24
ビデオ入力からの映像ではありませんか。	• ビデオ入力からの映像は、3D表示に切り換えることはできません。	−

3D映像が不自然に見える

確認すること	解決法・その他	ページ
画面の正面で見ていますか。	• 画面の正面で視聴します。 • 画面からおよそ65cmの位置で視聴します。	−
3D映像の方式が違っている場合があります。	• クイックメニューの「3D表示モード切換」で切り換えてみます。	25

※ 3D映像の見えかたには個人やコンテンツによっても差があります。

通常の映像(2D表示)で見たい

確認すること	解決法・その他	ページ
−	• リモコンの 3D を押せば、3D映像を2D表示に切り換えられます。 • 3D映像を2D表示にした場合は、必要に応じてクイックメニューの「2D表示モード切換」をします。	25

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

確認すること	解決法・その他	ページ
本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。	• 「対象機器一覧」で確認します。 (最新情報はホームページ www.toshiba.co.jp/regza でお知らせしています) ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。	準 77
USBハードディスクが正しく接続されていますか。	• 「USBハードディスクを接続する」に従って、正しく接続します。	準 43
USBハードディスクの電源がはいっていますか。	• USBハードディスクの電源を入れます。	−
USBハードディスクが本機に登録されていますか。	• USBハードディスクを本機に登録します。	準 44
USBハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていますか。	• 「対象機器一覧」でUSBハブが推奨機器であることを確認します。 ※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクを接続する」の「お知らせ」をご覧ください。	準 77 準 43

SDメモリーカードが使用できない(認識されない)

確認すること	解決法・その他	ページ
SDメモリーカードが正しく挿入されていますか。	• SDメモリーカードを正しく挿入します。	−
本機で対応しているSDメモリーカードですか。	• 本機で対応しているSDメモリーカードを使用します。	準 46
フォーマットが異常ではありませんか。	• 本機でSDメモリーカードを初期化します。	準 46
SDメモリーカードが異常ではありませんか。	• ほかのSDメモリーカードを使用します。	−

症状に合わせて解決法を調べる つづき

USBハードディスクに録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
USBハードディスクの残量が足りていますか。	• 残量を確認する。 • 不要な番組を削除する。 • 「自動削除設定」を「削除する」に変更する。	46 43
コピー禁止の番組ではありませんか	• 録画はできません。	–
アナログ放送の番組ではありませんか。	• 本機は左記の番組や映像の録画には対応しておりません。	28
外部入力の番組ではありませんか。		
外部入力端子に接続したCATV放送の番組ではありませんか。		
ブロードバンドの映像ではありませんか。		
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	• 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※「録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。	37
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	• 「連ドラ設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ 1回限りのキーワード(「第○○話」や出演者名など)を削除することがポイントです。	37
「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。	• クイックメニューの「お知らせ」で、内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。	67

SDメモリーカード内に録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
ライトプロテクトタブがLOCK側になっていませんか。	• ライトプロテクトタブのLOCKを解除します。	–
SDメモリーカードに十分な残量がありますか。	• 残量が少ない場合は、不要な番組を消すか、または残量のあるSDメモリーカードに差し換えます • 残量時間は確認できます。	46

USBハードディスクに録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。	• 「自動削除設定」を「削除しない」に設定する。 • または、消したくない番組を保護する。	43
録画中(前面の「録画」表示が赤色に点灯中)に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。	• 録画中は電源プラグを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。	–

USBハードディスクに録画した番組がほかのレグザで再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
–	• USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません。(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)	–

SDメモリーカード内の動画を再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
記録されているファイルは本機で対応しているファイルですか。	• 本機で再生できる動画ファイルはAVCHD形式のファイルのみです。	–

SDメモリーカード内の写真を表示できない

確認すること	解決法・その他	ページ
記録されているファイルは本機で対応しているファイルですか。	• 本機で再生できる写真ファイルはJPEG形式のファイルのみです。	−
表示モードがシームレスモードになっていませんか。	• 表示モード切換をします。(DCIMフォルダがない場合は、シームレスモードで表示できません)	−
SDメモリーカード内に1000枚以上のファイルが保存されていませんか。	• パソコンやデジタルカメラなどで不要なファイルを削除します。	−
ファイル名やフォルダ名に長い名前のものがありませんか。	• ファイル名を短くします。 見たいファイルのファイル名とそのファイルが収容されているフォルダ名の合計文字数を200文字以内にします。	−

写真の画像が表示されるのが非常に遅い

確認すること	解決法・その他	ページ
ファイルサイズが大きすぎませんか。	• パソコンなどでファイルサイズを小さくします。	−

ネットワーク

LAN端子を使った双方向サービスができない

確認すること	解決法・その他	ページ
LAN端子は正しく接続されていますか。	• 接続を確認します。	準55
「LAN接続設定」は正しく行われていますか。	• LAN接続設定を確認してください。 • 最後に「接続テスト」で、正しく通信できているか確認します。	準56

通信速度が遅い、不安定

確認すること	解決法・その他	ページ
LANケーブルが長すぎませんか。	• 通信速度が遅くなることがあります。	−
データ量が多くありませんか。	• 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。	−
通信環境によるもの(ADSLの場合、電話局から遠いなど)ではありませんか。	―	−
回線が混んでいませんか。	• 通信速度が遅くなることがあります。	−

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができます。	26
「アンテナ接続か受信環境に不具合があるため、ご覧になれません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。 青ボタンでアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」	• アンテナが放送に適合していない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • BS/110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 • アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。（販売店にご相談ください） • BS/110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	準24～準28 準36
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	－
「このチャンネルはご覧になれません。コード：E210」	部分受信サービス（ワンセグ）を選局した。	本機はワンセグ放送の番組を録画できますが、直接ワンセグ放送の番組を視聴することはできません。	－
「該当するチャンネルはありません コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	－
「B-CASカードが正しく入っていません。B-CASカードをご確認ください。」	B-CASカードが挿入されていない。	B-CASカードを正しく挿入します。	準23

LAN端子を使ったインターネット通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	接続・設定の状態を確認します。	準55 準56
	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作します。	－
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。	準41
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。	準41
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	ルート証明書の有効期限が切れている。		
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。（本機の動作は正常です）	－
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	認証エラーが発生した。		

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	–
	USBハードディスクの電源が切れている。	USBハードディスクの電源を入れます。	–
	USBハードディスクにエラーが発生した。	USBハードディスクの電源を入れ直してみます。	–
「再生できません。」	本機で対応しているフォーマットではない。	本機では再生できません。	–
「USB端子の電源容量を越えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 電源ボタンを押して本機の電源を切る ② 本機に接続しているUSBハードディスクをすべてはずす ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込んで電源を入れる ④ 使用するUSBハードディスクだけを本機に接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	–

SDメモリーカードに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「SDメモリーカードが初期化されていません。」	録画するSDメモリーカードが初期化されていない。	録画するSDメモリーカードを初期化してください。	準46
「SDメモリーカードがライトプロテクトされています。」	録画するSDメモリーカードのライトプロテクトタブがLOCK側になっている。	録画するSDメモリーカードのライトプロテクトタブのLOCKを解除してください。	–
「SDメモリーカードが挿入されていません。」	録画するSDメモリーカードが挿入されていない。	録画するSDメモリーカードを挿入してください。	準46
「SDメモリーカードに録画できません。」	BS・110度CSデジタル放送の番組をSDメモリーカードに録画しようとした。	BS・110度CSデジタル放送の番組は、SDメモリーカードに録画できません。	–
「ワンセグは選択できません。」	BS・110度CSデジタル放送の番組を録画する設定画面で、ワンセグ放送の番組を選択しようとした。	BS・110度CSデジタル放送の番組を録画する設定画面では、ワンセグ放送の番組は選択できません。	–
「録画可能な機器が接続されていません。」	録画するSDメモリーカードが挿入されていない。	録画するSDメモリーカードを挿入してください。	準46

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページでお知らせしています。（www.toshiba.co.jp/regza/support/）
  - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。

放送電波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

自動ダウンロードの設定をする

- 以下の「自動ダウンロード」の設定を「ダウンロードする」（お買い上げ時の設定）にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。常に最新のソフトウェアで使用することができます。

1 スタート を押し、▲·▼と決定で「設定」⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からのダウンロード」⇨「自動ダウンロード」の順に進む

2 ▲·▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す

- 青 を押せば、自動ダウンロードの日時を一覧で確認することができます。

任意ダウンロードの予約をする

- 任意でダウンロードできるソフトウェアが用意されることがあります。ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。

※ ソフトウェアがない場合は、メニューで「ダウンロードの予約」を選択することができません。

1 スタート を押し、▲·▼と決定で「設定」⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からのダウンロード」の順に進む

2 ▲·▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定を押す

3 ダウンロードの予約をする場合は、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で予約日時を選び、決定を押す

5 画面のメッセージを読み、決定を押す

- 予約できるダウンロードは一つです。

※ **予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしておいてください。**

ダウンロード予約の日時を変更するには

❶ 上記「任意ダウンロードの予約をする」の手順1～3の操作で、予約日時一覧の画面にする

❷ 変更後の日時を▲·▼で選び、決定を押す

❸ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❹ 画面のメッセージを読み、決定を押す

※ 予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしておいてください。

ダウンロード予約を取り消すには

❶ 上記「任意ダウンロードの予約をする」の手順1～3の操作で、予約日時一覧の画面にする

❷ 予約済のダウンロード日時を▲·▼で選び、決定を押す

❸ 画面のメッセージを読み、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

■ ダウンロード
放送波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末（この場合は本機）に転送することです。

- 更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、BSデジタル放送または地上デジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します。（情報を確認する操作はありません）
- 更新用ソフトウェアの自動ダウンロードと自動更新は、本機の電源が「待機」（リモコンで電源を切った状態）のときに行われます。
- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。

お知らせを見る

東芝サーバーからダウンロードする

- インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新します。
- あらかじめインターネットへの接続と設定が必要です。「インターネットに接続する」（準備編 55）の章をご覧ください。

1 スタートを押し、▲·▼と決定で「設定」⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「サーバーからのダウンロード開始」の順に進む

- 本機と東芝サーバーとの通信が始まり、東芝サーバーに更新できるソフトウェアがあった場合は、ソフトウェア更新の説明画面が表示されます。
- 約8秒後にソフトウェアの更新が始まります。ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

2 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、決定を押す

- 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

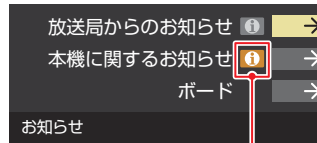
1 スタートを押し、▲·▼と決定で「設定」⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェアバージョン」の順に進む

- ソフトウェアのバージョンが表示されます。

- お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ（「ボード」を除きます）があると、チャンネル切換時や画面表示を押したときに、画面に「お知らせアイコン」 i が表示されます。14

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定を押す

未読のお知らせはオレンジ色で表示されます。

- **放送局からのお知らせ**……デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ**……ダウンロードなどについて本機が発行したお知らせです。
- **ボード**……110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

4 読みたいお知らせを▲·▼で選び、決定を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

■ 東芝サーバーからのダウンロードについて
- 東芝サーバーからのダウンロードの場合、回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

■ お知らせについて
- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- お知らせアイコンは、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	MV	マルチビューサービス（複数の映像・音声があり、映像・音声が連動して切り換わる番組）
ラジオ	ラジオ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
データ	データ放送	HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
16：9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
4：3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	SD	デジタル標準テレビ放送
ステレオ	ステレオ音声放送	SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
サラウンド	サラウンドステレオ放送	SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
二重音声	二重音声放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
字	字幕放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

※ テレビ が表示されていなくても、データ放送（番組に連動していないもの）がある場合があります。
データ が表示されていても、放送局側の運用によってはデータ放送が番組に連動していない場合があります。

お知らせ、予約、録画、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
データ取得中	データの取得中	光デジタルコピー可	光デジタル録音できます
i	未読の「おしらせ」	光デジタルコピー1	1回のみ光デジタル録音できます
i	既読の「おしらせ」	光デジタルコピー¥	光デジタル録音できません
	録画予約	光デジタルコピー×	
✔	視聴予約	デジタルコピー¥	デジタル録画できない番組の場合
●	録画中	デジタルコピー×	
アナログコピー可	アナログ録画できます	デジタルコピー可	デジタル録画できます
アナログコピー¥	アナログ録画できません		非リンク型サービス（通信番組）15☞
アナログコピー×			SSLなどの暗号通信をしている場合15☞
ダビング	録画可能回数が制限されている番組の場合		

メニュー 一覧

● 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。(薄く記載している部分は、別冊「準備編」で使用する部分です)
「準備編」のメニュー 一覧は、準備編 67 をご覧ください。

● メニューで選択できる項目は、映像や音声の種類などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。

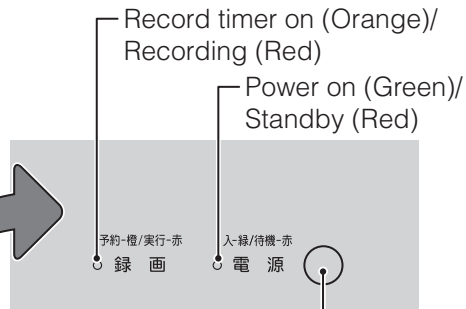
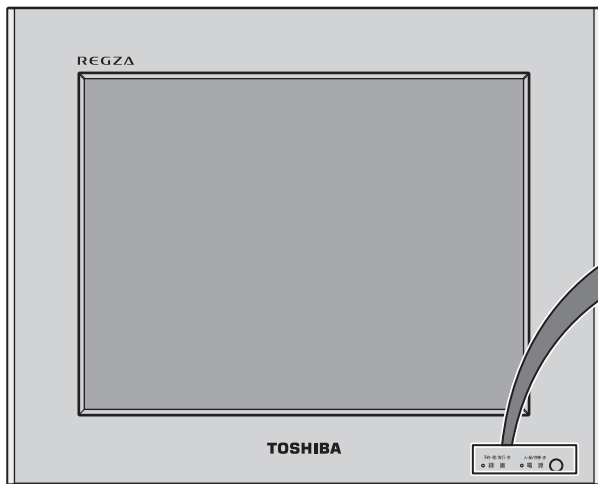
スタート → 設定

- 外部機器設定
  - USBハードディスク設定
    - 機器の登録
    - 自動削除設定 43
    - 省エネ設定
    - 機器の取りはずし
    - 動作テスト
    - 機器の初期化
  - SDメモリーカード設定
    - SDメモリーカードの初期化
    - ワンセグ録画予約メッセージ設定
  - 録画再生設定
    - Eメール録画予約設定
      - 基本設定
        - POP3サーバーアドレス
        - POP3ユーザー名
        - POP3パスワード
        - APOP
        - POP3アクセス時刻
        - SMTPサーバーアドレス
        - メールアドレス
      - Eメール録画予約機能
      - 録画機器
      - メール予約パスワード
      - 予約設定結果通知
      - 指定メールアドレス
      - 予約アドレス登録
    - ダイレクト録画時間設定
    - ワンタッチスキップ設定
    - ワンタッチリプレイ設定

スタート → 設定

- 初期設定
  - はじめての設定
  - アンテナ設定
    - 地上デジタルアンテナレベル
    - BS・110度CSアンテナレベル
    - BS・110度CSアンテナ電源供給
    - BS中継器切換
    - 110度CS中継器切換
  - チャンネル設定
    - 地上デジタル自動設定
      - 初期スキャン
      - 再スキャン
      - 自動スキャン
    - 手動設定
      - 地上デジタル
      - BS
      - 110度CS
    - 地デジ難視対策衛星放送
    - チャンネルスキップ設定
      - 地上デジタル
      - BS
      - 110度CS
    - 初期設定に戻す
  - データ放送設定
    - 郵便番号と地域の設定
    - 文字スーパー表示設定
    - ルート証明書番号
  - LAN接続設定
    - IPアドレス設定
    - DNS設定
    - プロキシ設定
    - MACアドレス
    - 接続テスト
  - B-CASカードの確認 79
  - ソフトウェアのダウンロード 66～67
    - 放送からのダウンロード
      - 自動ダウンロード
      - ダウンロードの予約
    - サーバーからのダウンロード開始
    - ソフトウェアバージョン
  - 設定の初期化

Basic Operations

[TV Front Panel]

● **For optimum performance, aim the remote control DIRECTLY at the TV remote sensor. (within 16 ft from the TV set)**

[TV Right Side Panel]

電 源 — ● **Press to turn the TV set on and off.**

チャンネル ▲▼ — For changing the channel position.

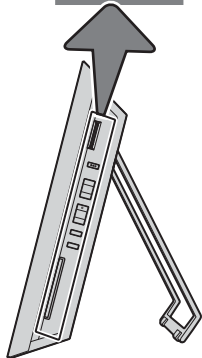
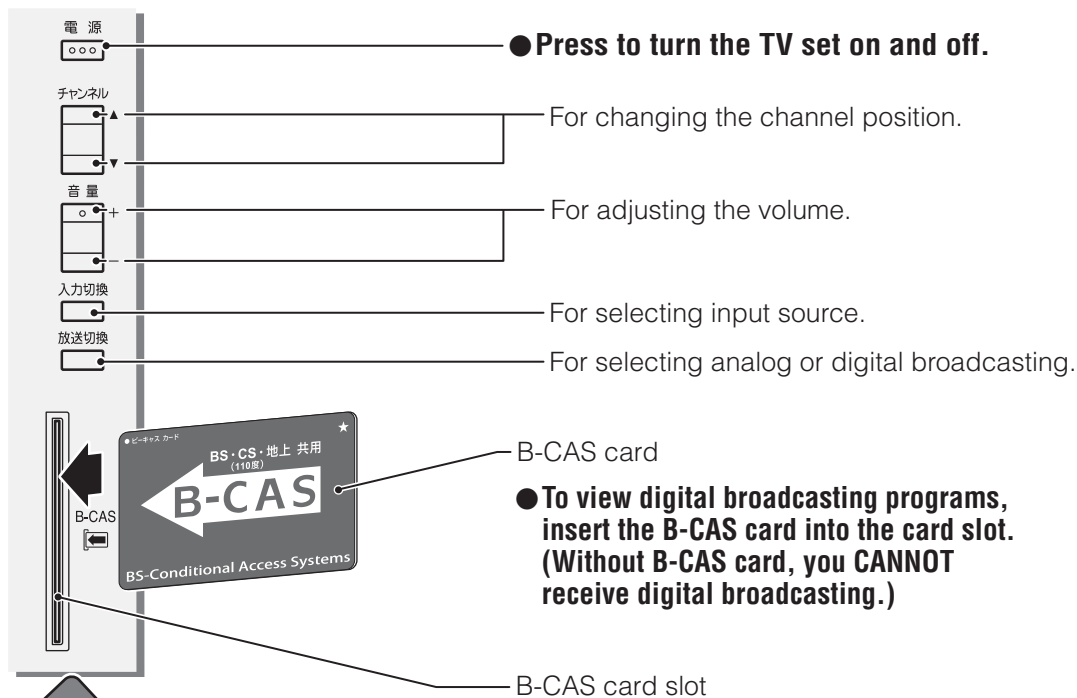
音 量 + – — For adjusting the volume.

入力切換 — For selecting input source.

放送切換 — For selecting analog or digital broadcasting.

B-CAS card

● **To view digital broadcasting programs, insert the B-CAS card into the card slot. (Without B-CAS card, you CANNOT receive digital broadcasting.)**

B-CAS card slot

● For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

[Remote controller]

Power button (ON/STANDBY)

Input selection button

● For selecting Digital satellite broadcasting programs.

● For selecting Digital terrestrial broadcasting programs.

● For selecting program channeles.

Channels sequential access button (Up / Down)

Sound volume adjustment button

EPG button

● For accessing to the Electronic Program Guide (EPG).
EPG provides you with a chart of the schedule of all available digital channels.

● For returning to the previous screen when in menu or EPG mode.

● For exiting menus or EPG mode.

その他
本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されることがあり、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されなかったりすることがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- リフレッシュレートが24/70/72/75Hzの信号は60Hzに変換して表示されます。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレートまたは垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

その他
お手入れについて

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

■ ベンジン・アルコールなどは使わない
- ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ キャビネットや操作パネルのお手入れ
- キャビネットに付着しているゴミやほこりを取り除いてから、市販のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれたクリーニングクロスや硬い布でふいたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ 画面(液晶パネル)は特殊な加工をしています
- 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ 画面(液晶パネル)は水ぶきをしない
- 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布(OA機器清掃用の布)で軽くふいてください。
- アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

仕様

項目		仕様
種類		地上・BS・110度CSデジタル液晶テレビ
形名		12GL1
受信機型サイズ		12V
電源		DC12V（定格電流 5A） AC 100V 50/60Hz共用（付属のACアダプター（EADP-60EB A）使用時）
消費電力		46W 電源「待機」時 0.6W、電源「切」時 0.5W、 （機能動作時 35W）※
年間消費電力量［あざやか（＝標準）］時		66kWh/年
区分名		DI
スタンドを含む外形寸法	幅	33.7cm
	高さ	27.2cm
	奥行	20.0cm
スタンドを含む質量		3.6kg
液晶画面	画面寸法	幅 24.6cm、高さ 18.4cm、対角 30.7cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	水平466×垂直350
受信チャンネル		地上デジタル：VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（C13 ～ C63） BSデジタル：BS000 ～ BS999、110度CSデジタル：CS000 ～ CS999
スピーカー		圧電アクチュエーター方式
入力・出力端子	HDMI入力	HDMI（Lip Sync）
	ビデオ入力	映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：200mV（rms）、22kΩ以上（ピンジャック）
	USB（HDD専用）端子	USB2.0
	LAN端子	RJ-45
	SDメモリーカードスロット	1 系統、 128MB（メガバイト）～ 2GB（ギガバイト）（SDメモリーカード）、 4GB ～ 32GB（SDHCメモリーカード）、 ～ 64GB（SDXCメモリーカード）
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω ～ 32Ω
使用環境条件		温度：0℃～ 35℃、相対湿度：20%～ 80%（結露のないこと）
付属品		「付属品」（準備編 5 ）をご覧ください。

※：電源「待機」時または電源「切」時に以下の動作をしているときの消費電力です。
- 本機で受信したデジタル放送を外部機器で録画しているとき
- 番組情報などを取得しているとき
- Eメール録画予約機能で設定した「POP3アクセス時刻」に、メールサーバーにアクセスしているとき

仕様 つづき

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ(12V)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称をいいます。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて、1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、1年間に使用する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」- JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。(故障ではありません。)

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

詳細は以下のURLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

ライセンスおよび商標などについて

- DOLBY DIGITAL　この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI　HDMI、MDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- SDメモリーカードに録画されたワンセグコンテンツはCPRM（Content Protection for Recordable Media）にて保護されています。CPRMとは、コピー制限のある番組に対する著作権保護技術です。
- 本機は、Rovi Corporation ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporation の認可が必要であり、RoviCorporation の認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。
  改造または分解は禁止されています。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLC の商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- 本取扱説明書に記載されている名称、会社名、商品名などには、各社の登録商標や商標が含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
- **AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE**
  THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD (“AVC VIDEO”) AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP//WWW.MPEGLA.COM

さくいん

数字

A

B

E

H

J

S

あ

い

え

お

か

き

く

こ

さ

し

す

せ

B-CASカードの情報を確認する

● B-CASカードの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。

1 スタート ◯ を押す

2 ▲･▼ と 決定 で「設定」⇨「初期設定」⇨「B-CASカードの確認」の順に進む

● B-CASカードの状態確認結果が表示されます。

Ｂ－ＣＡＳカードの確認	
	状態
Ｂ－ＣＡＳ	正常に動作しています。

3 決定 を押す

● B-CASカードの情報が表示されます。

Ｂ－ＣＡＳカードの確認	
カード識別番号	ＸＸＸＸ
カードＩＤ番号	ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ
グループＵＤ番号	

B-CASカードID番号記入欄

● 下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

www.toshiba.co.jp/regza

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp）をご参照ください。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】365日／9:00～20:00

メモ

形名		製造番号								

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）

フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クローナシ）

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、

03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）

ナビダイヤル **0570-05-5100**

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、上記の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

- 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

- 「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上・BS・110度CSデジタル液晶テレビ
形名	12GL1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　―

廃棄時にご注意願います

- 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

株式会社

ビジュアルプロダクツ社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

- 製品に付属されている取扱説明書の本文および裏表紙はモノクロ印刷です。

TD/O1 VX1A00197800